

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名	建設部 下水道整備課								
部長	審議監	課長	補佐	補佐	主幹	班	班	設計者	設計審査
工 事 名 称	市川第4-4処理分区高塚新田第1号污水幹線工事(R8-1工区)								
工 事 場 所	松戸市 高塚新田 地先								
事 業 年 度	令和 8 年度								
工 事 価 格	円								
工 事 費 計	円								

設 計 概 要	路線延長	294.50m
	φ200mm開削工(塩ビ管)	122.50m
	φ250mm開削工(塩ビ管)	113.00m
	φ200mm推進工(塩ビ管)	59.00m
	組立1号マンホール設置工	13基
	レジンコンクリート製小型マンホール設置工	1基
	汚水ます及び取付管工 附帯工	13箇所 1式

単価適用日 2026年6月1日

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	管路施設工							
		管推進工						
			内径200mm塩ビ管推進工 低耐荷オーガ	式	1			第 1 号内訳書参照
			仮設備工 低耐荷力管推進工法オーガ式	式	1			第 2 号内訳書参照
		立坑工						
			ライナープレート式土留工及び土工	式	1			第 3 号内訳書参照
			コンクリート製ブロック方式立坑（圧入式）	式	1			第 4 号内訳書参照
		管布設工						
			本管布設工	式	1			第 5 号内訳書参照
			本管土工	式	1			第 6 号内訳書参照

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
			本管土留工	式	1			第 7 号内訳書参照
		マンホール設置工						
			組立1号マンホール設置工	式	1			第 8 号内訳書参照
			小型レジンマンホール設置工 φ300mm	式	1			第 9 号内訳書参照
		ます設置及び取付管布設工						
			小口径汚水ます設置工	式	1			第 10 号内訳書参照
			取付管布設工	式	1			第 11 号内訳書参照
			取付管土工	式	1			第 12 号内訳書参照
		附帯工						
			附帯工	式	1			第 13 号内訳書参照
			舗装復旧工	式	1			第 14 号内訳書参照

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
			仮設工	式	1			第 15 号内訳書参照
		直接工事費計						
		運搬費		式	1			第 16 号内訳書参照
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
		純工事費						
		現場管理費		式	1			
		工事原価						
		一般管理費		式	1			
		スクラップ		式	1			第 17 号内訳書参照
		工事価格						

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計								

第 1 号内訳書

内径200mm塩ビ管推進工

低耐荷オーガ

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
SUSカー付直管	φ 200mm L=1.0m 標準管・先頭管	本	55			2026/05/01
SUSカー付直管	φ 200mm L=1.0m 最終管	本	2			2026/05/01
推進工(低耐荷力オーガ)	昼間	m	56.1			第 1 号単価表参照
スクリーコンベヤ類撤去工	(低耐荷力オーガ) 昼間	m	56.1			第 2 号単価表参照
空伏工	硬質塩化ビニル管 φ 200mm 昼間	m	1.1			第 3 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分(処分費込み) 昼間	m ³	2			第 4 号単価表参照
計						

第 2 号内訳書 仮設備工

低耐力力管推進工法オーガ式

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鏡切り	低耐力力オーガ φ 200mm ライナープレート 昼間	箇所	2			第 5 号単価表参照
マンホール削孔費		箇所	1			第 6 号単価表参照
推進設備工(低耐力力オーガ)	昼間	箇所	1			第 7 号単価表参照
推進設備据換工	(低耐力力オーガ) 昼間	箇所	1			第 8 号単価表参照
先導体据付撤去工(低耐力力オーガ)	分割回収 昼間	箇所	2			第 9 号単価表参照
計						

第 3 号内訳書 ライナープレート式土留工及び土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
一次掘削工	BH0.45 昼間	m ³	5			第 10 号単価表参照
ライナープレート掘削土留工	円形 径2000～3900 4m以下 No.47-2 昼間	m	4			第 11 号単価表参照
グラウト注入工	昼間	m ³	2			第 12 号単価表参照
機械投入埋戻工(バックホ)	改良土 昼間	m ³	3			第 13 号単価表参照
発生土運搬工	BH0.28積込、4tDT運搬 昼間	m ³	12			第 14 号単価表参照
機械投入埋戻工(ポンプ)	流動化処理土 昼間	m ³	7			第 15 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分(処分費込み) 昼間	m ³	13			第 4 号単価表参照
ライナープレート撤去工	円形、径1500～3000 昼間	m	1.085			第 16 号単価表参照
覆工板・受桁設置・撤去	(設置面積700㎡以下) 昼間	m ²	9			第 17 号単価表参照
立坑基礎工	円形2000mm 基礎砕石(t=200)基礎Co(t=150) 昼間	式	1			第 18 号単価表参照
仮設鋼材損料及び修理損耗費	覆工板・主桁・桁受・舗装止め・ライナープレート等	式	1			

第 3 号 内訳書 ライナープレート式土留工及び土工

1 式

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計						

第 4 号内訳書 コンクリート製ブロック方式立坑（圧入式）

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート製ブロック圧入式立坑築造工	φ 900mm粘性土N≦10 掘削深4.823m MMホールSコンパクトタイプ	式	1			第 19 号単価表参照
上部 2 次製品設置工	φ 900mm	式	1			第 20 号単価表参照
残土処分工	クム積込 10tDT運搬処分（処分費込み） 昼間	m3	5			第 21 号単価表参照
計						

第 5 号内訳書 本管布設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径200mm 昼間	m	115.9			第 22 号単価表参照
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径250mm 昼間	m	109.4			第 23 号単価表参照
計						

第 6 号内訳書 本管土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械掘削工	BH0.28 昼間	m3	473			第 24 号単価表参照
砂基礎設置工（機械施工）	改良土 昼間	m3	110			第 25 号単価表参照
機械投入埋戻工（ハックホ）	改良土 昼間	m3	330			第 13 号単価表参照
発生土運搬工	BH0.28積込、4tDT運搬 昼間	m3	440			第 14 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分（処分費込み）昼間	m3	33			第 4 号単価表参照
計						

第 7 号内訳書 本管土留工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.28 昼間	m	79			第 26 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	79			第 27 号単価表参照
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.5m以下 BH0.28 昼間	m	32.5			第 28 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	32.5			第 29 号単価表参照
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.0m以下 BH0.28 昼間	m	121			第 30 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.0m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	121			第 31 号単価表参照
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.5m以下 BH0.28 昼間	m	3			第 32 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	3			第 33 号単価表参照
土留支保工(軽量金属支保工)	2.0m以下 昼間	m	79			第 34 号単価表参照
土留支保工(軽量金属支保工)	3.5m以下 昼間	m	156.5			第 35 号単価表参照
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1			

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計						

第 8 号内訳書 組立1号マンホール設置工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール鉄蓋（浮上・飛散防止型）	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	12			
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ600mm ロック付き	個	9			
組立1号マンホール	内径900mm、H=2.8m	基	12			
底部工（開削部）	1号マンホール 昼間	箇所	11			第 36 号単価表参照
底部工	立坑部 昼間	箇所	1			第 37 号単価表参照
組立マンホール設置工	1号3m以下 昼間	箇所	12			第 38 号単価表参照
マンホール削孔費		式	1			第 39 号単価表参照
無収縮モルタル	調整高 3cm	箇所	12			
スリム内副管設置工		式	1			第 40 号単価表参照
計						

第 9 号内訳書 小型レジンマンホール設置工

φ 300mm

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
レジン用 鋳鉄製マンホール蓋	φ 300mm用 T-14	組	1			
レジンコンクリート製マンホール 中間用	内径300mm H=1.58m	基	1			
小型マンホール設置工(レジンコンクリート製)	2.0m以下 昼間	箇所	1			第 41 号単価表参照
無収縮モルタル	調整高 3cm	箇所	1			
計						

第 10 号 内訳書 小口径汚水ます設置工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ます設置工(塩化ビニル製)	ます径φ200 昼間	箇所	13			第 42 号単価表参照
計						

第 11 号 内訳書 取付管布設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設および支管取付工	φ 150mm塩ビ管 塩ビ管3m以上5m未満	箇所	13			第 43 号単価表参照
計						

第 12 号 内訳書 取付管土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械掘削工	BH0.28 昼間	m3	19			第 24 号単価表参照
発生土運搬工	4tDT運搬 昼間	m3	18			第 44 号単価表参照
機械投入埋戻工(ハックホ)	改良土 昼間	m3	18			第 13 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分(処分費込み) 昼間	m3	2			第 4 号単価表参照
計						

第 13 号 内訳書 附帯工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m	578			第 45 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 昼間	m3	1			第 46 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m2	272			第 47 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 昼間	m3	14			第 48 号単価表参照
路盤掘削工	BH0.28 昼間	m3	68			第 49 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み 昼間	m3	68			第 50 号単価表参照
路盤工及び舗装工市道一般	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)	m2	272			第 51 号単価表参照
ラバーポール撤去・設置工	手間のみ 昼間	本	7			第 52 号単価表参照
計						

第 14 号 内訳書 舗装復旧工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m	118			第 45 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 昼間	m3	0.2			第 46 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m2	1,181			第 47 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 昼間	m3	59			第 48 号単価表参照
不陸整正	RM-30	m2	1,181			第 53 号単価表参照
アスファルト舗装工(機械)市道一般	表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート) 昼間	m2	1,181			第 54 号単価表参照
区画線工		式	1			第 55 号単価表参照
計						

第 15 号内訳書 仮設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	昼間	人日	210			第 56 号単価表参照
計						

第 16 号 内訳書 運搬費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 往路 昼間	t	7.604			第 57 号単価表参照
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 復路 昼間	t	7.604			第 58 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費	往復分 昼間	t	7.604			第 59 号単価表参照
機器輸送費	コンクリート製ブロック圧入式 復路 昼間	式	1			第 60 号単価表参照
機械積込み積卸し	コンクリート製ブロック圧入式 昼間	式	1			第 61 号単価表参照
計						

第 17 号 内訳書 スクラップ

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スクラップ	へビーH1	t	-0.295			
スクラップ	へビーH3	t	-0.248			建設物価、積算資料
計						

第 1 号 単価表

推進工(低耐荷力オーガ)

昼間

9 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
滑材		L	135			15*9
トラック	ベ-ストラック4~4.5t級吊能力2.9t	時間				第 62 号単価表参照
機械器具損料		日				
推進工機械器具損料(2)		日				第 63 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	9 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD20280

J01 呼び径(mm) = 2 呼び径200mm
 J03 1推進区間の延長(実数入力) [m] = 28.05

J02 管体長(m) = 1

管体長1.0m

第 2 号 単価表

スクリーコンベヤ類撤去工

(低耐荷力オーガ)
昼間

40 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	ベ-トラック4~4.5t級吊能力2.9t	時間				第 62 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	40 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD20300

J01 区分 = 1

1m管日当り撤去量

第 3 号 単価表

空伏工

硬質塩化ビニル管 φ200mm
昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径200m	m	1			第 64 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 4 号 単価表

残土処分工

BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込
10tDT運搬処分(処分費込み)昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬工	BH0.28積込 4tDT運搬 現場～仮置場	m3	1			第 65 号単価表参照
積込 (ルーズ)	BH0.8m3	m3	1			第 66 号単価表参照
土砂等運搬	10tDT運搬	m3	1			第 67 号単価表参照
建設発生土処理費		m3	1			
計	1 m3 当り					

第 5 号 単価表

鏡切り

低耐荷力オーガ
φ200mm ライナープレート 昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鏡切り工	ライナープレート t=2.7~3.2	m	1.2			第 68 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 6 号 単価表

マンホール削孔費

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 200mm	箇所	1			
計	1 箇所 当り					

第 7 号 単価表

推進設備工(低耐荷力オーガ)

昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
電工		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9 t 吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD20540

J01 トラッククレーン賃料補正 = 1

標準 (1.0)

第 8 号 単価表

推進設備据換工

(低耐力力オ-が)
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
電工		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9 t 吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD20550

J01 トラッククレーン賃料補正 = 1

標準 (1.0)

第 9 号 単価表

先導体据付撤去工(低耐荷力ケーブル)

分割回収
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック	ベーストラック4～4.5t級吊能力2.9t	時間				第 69 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD20570

第 10 号 単価表

一次掘削工

BH0.45
昼間

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(1次)	山積0.45m3(平積0.35m3) 昼間	時間				第 70 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10030

J01 バックホ規格 = 3

排対(1次)山積0.45m3(平0.35m3)

第 11 号 単価表

ライナープレート掘削土留工

円形 径2000～3900 4m以下
No. 47-2 昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
トンネル特殊工		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(1次)	山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 昼間	日				第 71 号単価表参照
クレーン装置付トラック	4 t 級 2 . 9 t 吊 昼間	日				第 72 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD40020

J01 形区分 = 1
J03 土質区分 = 1

円形
砂質土及び粘性土

J02 径又は短径(mm) = 1
J04 最大掘削深 = 1

径2000～3900mm
4 m まで

第 12 号 単価表

グラウト注入工

昼間

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
裏込材		m3	11.4			第 73 号単価表参照
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SWB230930

第 13 号 単価表

機械投入埋戻工 (ハックホ)

改良土
昼間

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工 (ハックホ)		m3	100			第 74 号単価表参照
建設発生土土質改良土 (CBR 6%以上)	石灰系改良 (葛南)	m3	120			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

第 14 号 単価表

発生土運搬工

BH0.28積込、4tDT運搬
昼間

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック	4t積級	日				第 75 号単価表参照
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10160

J01 ダンプトラック規格 = 1
J03 DID区間 = 2
J05 タイヤ損耗費 = 2

ダンプトラック 4t積級
DID区間あり
良好

J02 運搬距離 (実数入力) [km] = 5.4
J04 バックホウ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 15 号 単価表

機械投入埋戻工 (ポンプ)

流動化処理土
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式]	圧送能力 90～110m ³ /h	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
運転手 (特殊)		%	R4			
材料構成比		%	Z			
流動化処理土		%	Z1			資材価格調査
軽油		%	Z2			

第 15 号 単価表

機械投入埋戻工 (ポンプ)

流動化処理土
昼間

1 m3 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3 当り					

SCB230960

J01 打設工法 = 1

コンクリートポンプ車打設

J02 コンクリート規格 = 46

各種

J03 設計日打設量 = 1

10m3以上100m3未満

J04 養生工の種類 = 1

養生無し

J05 圧送管延長距離区分 = 1

延長無し

J07 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 16 号 単価表

ライナープレート撤去工

円形、径1500～3000
昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
クレーン装置付トラック	4 t 級 2 . 9 t 吊 昼間	日				第 76 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD40080

J01 形区分 = 1

円形

J02 径 又は 短径 (mm) = 2

径1500～3000mm

第 17 号 単価表

覆工板・受桁設置・撤去

(設置面積700㎡以下)
昼間

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
覆工板・受桁設置	(設置面積700㎡以下) 昼間	m2	100			第 77 号単価表参照
覆工板・受桁撤去	(設置面積700㎡以下) 昼間	m2	100			第 78 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB251990

J01 作業区分 = 3

設置・撤去

J02 ラフテレーンクレーン賃料補正 = 1 標準 (1.0)

第 18 号 単価表

立坑基礎工

円形2000mm

基礎碎石(t=200)基礎Co(t=150) 昼間

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎コンクリート	18-8-25 t=150 昼間	m3	0.47			第 79 号単価表参照
基礎碎石	RC-40 昼間	m2	3.14			第 80 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 19 号 単価表

コンクリート製ブロック圧入式立坑築造工

φ 900mm粘性土N≦10 掘削深4.823m
MMホールSコンパクトタイプ

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
圧入掘削積込工	φ 900mm粘性土N≦10 掘削深4.823m	m	4.823			資材価格調査 第 81 号単価表参照
底盤コンクリート	φ 900mm	箇所	1			第 82 号単価表参照
圧入掘削設備	φ 900mm粘性土N≦10 掘削深4.823m	箇所	1			資材価格調査 第 83 号単価表参照
コンクリート製ブロック	刃口・直壁	式	1			資材価格調査 第 84 号単価表参照
仮設ケーシング損料	L=1.0m、1.5m	式	1			資材価格調査 第 85 号単価表参照
路面覆工	φ 2000mm	式	1			資材価格調査 第 86 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 20 号 単価表

上部 2 次製品設置工

φ 900mm

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール鉄蓋 (浮上・飛散防止型)	径 600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	1			
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ 600mm ロック付き	個	1			
蓋(受枠とも)	調整コンクリートブロック据付工	組	1			第 87 号単価表参照
調整金具	H-25	個	1			資材価格調査
調整リング	MMR-15	個	1			資材価格調査
斜壁	MM1T-45	個	1			資材価格調査
足掛け金物取付工		段	2			第 88 号単価表参照
底部工	立坑部 昼間	箇所	1			第 37 号単価表参照
ブロック据付工		個	2			第 89 号単価表参照
スリム内副管設置工		式	1			第 90 号単価表参照
目地工	部材目地部	箇所	3			第 91 号単価表参照

第 20 号 単価表

上部 2 次製品設置工

φ 900mm

1 式 当り

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計	1 式 当り					

第 21 号 単価表

残土処分工

クワシ積込 10tDT運搬処分 (処分費込み)
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	クワシ積込、10tDT運搬	m3	1			第 92 号単価表参照
建設発生土処理費		m3	1			
計	1 m3 当り					

第 22 号 単価表

硬質塩化ビニル管設置工

呼び径200mm
昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共)	呼び径200mm R7月単位現場閉所	m	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD60010

J01 規格・仕様 = 2 呼び径 200mm
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J02 施工規模 = 1
J04 夜間作業補正 = 2

20m以上
無

第 23 号 単価表

硬質塩化ビニル管設置工

呼び径250mm
昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共)	呼び径250mm R7月単位現場閉所	m	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD60010

J01 規格・仕様 = 3 呼び径 250mm
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J02 施工規模 = 1 20m以上
J04 夜間作業補正 = 2 無

第 24 号 単価表

機械掘削工

BH0.28
昼間

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 93 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10030
J01 バックホ規格 = 1

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 25 号 単価表

砂基礎設置工 (機械施工)

改良土
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎設置工(機械施工)	(市場単価)	m3	1			第 94 号単価表参照
建設発生土土質改良土(CBR 6%以上)	石灰系改良 (葛南)	m3	1.2			
計	1 m3 当り					

第 26 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深2.0m以下 BH0.28
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	時間				第 93 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 2

掘削深2.0m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m³(平0.2m³)

第 27 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 2

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深2.0m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 28 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深2.5m以下 BH0.28
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	時間				第 93 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 3

掘削深2.5m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m³(平0.2m³)

第 29 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深2.5m以下 トラッククレーン4.9t吊
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 3

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深2.5m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 30 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深3.0m以下 BH0.28
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	時間				第 93 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 4

掘削深3.0m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m³(平0.2m³)

第 31 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深3.0m以下 トラッククレーン4.9t吊
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 4

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深3.0m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 32 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深3.5m以下 BH0.28
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	時間				第 93 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 5

掘削深3.5m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m³(平0.2m³)

第 33 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深3.5m以下 トラッククレーン4.9t吊
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 5

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深3.5m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 34 号 単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

2.0m以下
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10400

J01 作業区分 = 3
J03 切梁材区分 = 1

設置撤去
切梁材 水圧式ハイポット

J02 設置段数・掘削深 = 1

1段 2.0m以下

第 35 号 単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

3.5m以下
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10400

J01 作業区分 = 3
J03 切梁材区分 = 1

設置撤去
切梁材 水圧式パイポット

J02 設置段数・掘削深 = 2

2段 3.5m以下

第 36 号 単価表

底部工(開削部)

1号マンホール
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
碎石基礎工	機械投入埋戻工	m2	0.95			第 95 号単価表参照
インバートコンリート工	18-8-25 (高炉)	m3	0.16			第 96 号単価表参照
モルタル上塗工	マンホール用 配合比1:2	m2	0.74			第 97 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 37 号 単価表

底部工

立坑部
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
インバートコンリート工	18-8-25 (高炉)	m3	0.16			第 96 号単価表参照
モルタル上塗工	マンホール用 配合比1:2	m2	0.74			第 97 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 38 号 単価表

組立マンホール設置工

1号3m以下
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工	1号(900mm) 3m以下 R7月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60070

J01 規格・仕様 = 4 1号(900mm) 3m以下
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J02 施工規模 = 1
J04 夜間作業補正 = 2

4箇所以上
無

第 39 号 単価表

マンホール削孔費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 200mm	箇所	8			
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 250mm	箇所	5			
計	1 式 当り					

第 40 号 単価表

スリム内副管設置工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スリム型内副管	1号スリム UFMBT200×150 金具付	個	3			
スリム内副管用立て管	2000L	本	1			
スリム内副管用エルボ	150用	個	3			
スリム内副管用固定バンド	150用	個	6			
スリム型内副管	1号スリム UFMBT250×200	個	2			見積
プレーンエンド直管	φ 200mm	m	2.4			
副管用90° 曲管	φ 200mm	本	2			
副管用 ステンレスバンド	φ 200mm	個	5			
内副管取付工	1.5m以上2.0m以下	箇所	5			第 98 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 41 号 単価表

小型マンホール設置工(レジンコンクリート製)

2.0m以下
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD10830

J01 マンホール深さ(m) = 3

深さ2.00m以下

第 42 号 単価表

ます設置工(塩化ビニル製)

ます径φ200
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共)	ます(径200) R7月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60090

J01 規格・仕様 = 2 ます径 200mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有
 J05 鋳鉄製防護蓋設置の有無 = 2 無

J02 施工規模 = 1 5箇所以上
 J04 夜間作業補正 = 2 無

第 43 号 単価表

取付管布設および支管取付工

φ 150mm塩ビ管 塩ビ管3m以上5m未満

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材 工共)	管径150 R7月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60100

J01 規格・仕様 = 3 管径 150mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有
 J05 取付管長3m未満の場合の補正 = 2 無
 J07 本管材質コンクリート製・陶製の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 1 5箇所以上
 J04 夜間作業補正 = 2 無
 J06 取付管長5m以上12m未満の補正 = 2 無

第 44 号 単価表

発生土運搬工

4tDT運搬
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 10 9.0km以下

J02 積込機種・規格 = 5
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
 有り

第 45 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下
昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

※施工パッケージ単価

第 45 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下
昼間

1 m 当り 2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1
J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1 15cm以下

第 46 号 単価表

汚泥及び廃アルカリ運搬処分工

容器入り 処分費込み
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬		m3	1			第 99 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			
計	1 m3 当り					

第 47 号 単価表

舗装版破碎積込

アスファルト舗装 15cm以下
昼間

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕	山積0.45m3（平積0.35m3）	%	K1			
労務構成比		%	R			
土木一般世話役		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB430310

J01 舗装版種別 = 1
J03 騒音振動対策 = 1
J06 積込作業の有無 = 1

アスファルト舗装版
不要
有り

J02 障害等の有無 = 1
J04 舗装版厚 = 1
J07 費用の内訳 = 1

無し
15cm以下
全ての費用

第 48 号 単価表

As廃材運搬処分工

10tDT運搬処分
処分費込み 昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	10tDT運搬	m3	1			第 100 号単価表参照
A S 廃材処分費	葛南	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 49 号 単価表

路盤掘削工

BH0.28
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1
J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 50 号 単価表

路盤廃材運搬処分工

4tDT運搬処分
処分費込み 昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	4tDT運搬処分	m3	1			第 101 号単価表参照
路盤廃材処分費	東葛飾	t	2.04			
計	1 m3 当り					

第 51 号 単価表

路盤工及び舗装工市道一般

表層(再生密粒度As t=50)

路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤工	下層路盤 RC-40 t=200	m2	1			第 102 号単価表参照
上層路盤工	上層路盤 RM-30 t=150	m2	1			第 103 号単価表参照
アスファルト舗装工	再生密粒度As t=50	m2	1			第 104 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 52 号 単価表

ラバーポール撤去・設置工

手間のみ
昼間

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
道路付属物撤去工（車線分離標）		本	1			第 105 号単価表参照
道路付属物設置工	（車線分離標 [ラバーポール] 設置）	本	1			第 106 号単価表参照
計	1 本 当り					

第 53 号 単価表

不陸整正

RM-30

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)フレッド幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 53 号 単価表

不陸整正

RM-30

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生粒度調整碎石	RM-30	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410010
 J01 補足材料の有無 = 2 有り
 J03 補足材料 = 8 再生粒度調整碎石 RM-30
 J02 補足材料平均厚さ = 6 28mm以上34mm未満
 J04 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 54 号 単価表

アスファルト舗装工(機械)市道一般

表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)
昼間

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m	%	K1			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14t	%	K2			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手 (特殊)		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 54 号 単価表

アスファルト舗装工(機械)市道一般

表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)
昼間

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (1 3)	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 4
J05 材料 = 11
J07 費用の内訳 = 1

3.0m超
再生密粒度アスコン (1 3)
全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下[mm] = 50
J06 瀝青材料種類 = 2 プライムコート PK-3

第 55 号 単価表

区画線工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	白 実線 15cm	m	403.5			第 107 号単価表参照
区画線設置	白 文字換算 15cm	m	102.5			第 108 号単価表参照
区画線設置	白 実線 45cm	m	7.8			第 109 号単価表参照
区画線設置	白 破線 30cm	m	5			第 110 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 56 号 単価表

交通誘導警備員 B

昼間

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 57 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

往路 昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1

関東・中部・近畿

J04 製品長区分 = 1

12m以内

J06 運搬割増率 (実数入力) = 0

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 10

J05 運搬割増率 = 4

各種 (実数入力)

J07 その他の諸料金の有無 = 2

無

第 58 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)
復路 昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1

関東・中部・近畿

J04 製品長区分 = 1

12m以内

J06 運搬割増率 (実数入力) = 0

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 10

J05 運搬割増率 = 4

各種 (実数入力)

J07 その他の諸料金の有無 = 2

無

第 59 号 単価表

仮設材等の積込み取卸し費

往復分
昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み、取卸し費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積込み、取卸し（往復分）

第 60 号 単価表

機器輸送費

コンクリート製ブロック圧入式
復路 昼間

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車による運搬 (1車1回)		台	2			第 111 号単価表参照
輸送費	11t積トレーラー 片道50km	台	2			資材価格調査
計	1 式 当り					

第 61 号 単価表

機械積み積卸し

コンクリート製ブロック圧入式
昼間

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	25t吊	日				
計	1 式 当り					

第 62 号 単価表

トラック

ベ-トラック4~4.5t級吊能力2.9t

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	5.3			
トラック [クレーン装置付]	ベ-トラック4~4.5t積 吊能力2.9t	時間				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 時間 当り					

SDGD10562

第 63 号 単価表

推進工機械器具損料(2)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
推進工推進器具類損料	固定部 呼び径200mm(日進量当り)	式	1			
推進工推進器具類損料	変動部 呼び径 200mm	m	252.45			28.05*9
計	1 日 当り					

SDGD20290

J01 呼び径(mm) = 2 呼び径200mm

J03 1推進区間の延長 (実数入力) [m] = 28.05

J02 管体長(m) = 1

管体長1.0m

第 64 号 単価表

硬質塩化ビニル管設置工

呼び径200m

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共)	呼び径200mm R7月単位現場閉所	m	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD60010

J01 規格・仕様 = 2 呼び径 200mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 2 20m未満
 J04 夜間作業補正 = 2 無

第 65 号 単価表

発生土運搬工

BH0.28積込 4tDT運搬 現場～仮置場

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック	4t積級	日				第 75 号単価表参照
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10160

J01 ダンプトラック規格 = 1
 J03 DID区間 = 2
 J05 タイヤ損耗費 = 2

ダンプトラック 4t積級
 DID区間あり
 良好

J02 運搬距離 (実数入力) [km] = 2
 J04 バックホウ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 66 号 単価表

積込 (ルーズ)

BH0.8m3

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ (クローラ型) [標準型]	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210020

J01 土質 = 1

土砂

J02 作業内容 = 1

土量50,000m3未満

第 67 号 単価表

土砂等運搬

10tDT運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 1 標準
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J06 運搬距離 (km) (DID区間有) = 14 19.5km以下

J02 積込機種・規格 = 1
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3)
 有り

第 68 号 単価表

鏡切り工

ライナープレート t=2.7~3.2

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD20390

J01 土留種別 = 1

ライナープレート(t=2.7~3.2mm)

第 69 号 単価表

トラック

ベ-トラック4~4.5t級吊能力2.9t

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	5.3			
トラック [クレーン装置付]	ベ-トラック4~4.5t積 吊能力2.9t	時間				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 時間 当り					

SDGD10562

第 70 号 単価表

バックホリ排対(1次)

山積0.45m3(平積0.35m3)
昼間

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	8.6			
バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積0.45m3	時間				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 時間 当り					

SDGD10035

第 71 号 単価表

バックホリ排対(1次)

山積0.45m3(平積0.35m3)
昼間

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	50			
バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積0.45m3	供用日	1.5			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD40060

第 72 号 単価表

クレーン装置付トラック

4 t 級 2.9 t 吊
昼間

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	31			
トラック [クレーン装置付]	ベ-トラック4~4.5t積 吊能力2.9t	供用日	1.2			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD20165

第 73 号 単価表

裏込材

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
セメント (普通ポルトランド)	25kg 袋入	t	0.3			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m ³	0.34			0.6/1.74=0.344
計	1 m ³ 当り					

第 74 号 単価表

機械投入埋戻工(ハックホ)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
ハックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 93 号単価表参照
タンパ締固め		m3	100			第 112 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10130

J01 ハックホ規格 = 1

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

J02 タンパ締固め数量(m3) (実数) $[m3/100m3] = 100$

第 75 号 単価表

ダンプトラック

4t積級

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
軽油		L	32			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	1.29			
タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	1.29			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計						1 日 当り

SDGD10180

J01 機械損耗部品補正 = 2

良好

第 76 号 単価表

クレーン装置付トラック

4 t 級 2.9 t 吊
昼間

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	31			
トラック [クレーン装置付]	ベ-トラック4~4.5t積 吊能力2.9t	供用日	1.2			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD20165

第 77 号 単価表

覆工板・受桁設置

(設置面積 700m²以下)
昼間

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	25t吊	日				
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	100m ² 当り					
	1m ² 当り					

SWB251991

J01 ラフテレーンクレーン賃料補正 = 1 標準 (1.0)

第 78 号 単価表

覆工板・受桁撤去

(設置面積 700m² 以下)
昼間

100 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
とび工		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	25 t 吊	日				
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	100 m ² 当り					
	1 m ² 当り					

SWB251992

J01 ラフテレーンクレーン賃料補正 = 1 標準 (1.0)

第 79 号 単価表

基礎コンクリート

18-8-25 t=150
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホ(クロー) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
運転手 (特殊)		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 79 号 単価表

基礎コンクリート

18-8-25 t=150
昼間

1 m3 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2
J03 コンクリート規格 = 41
J13 費用の内訳 = 1

小型構造物
18-8-25 (高炉)
全ての費用

J02 打設工法 = 3
J05 養生工の種類 = 2

バックホウ (クレーン機能付) 打設
一般養生

第 80 号 単価表

基礎砕石

RC-40
昼間

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ） [標準]	山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 80 号 単価表

基礎砕石

RC-40
昼間

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2 当り					

SCB221110

J01 砕石の厚さ = 4

J03 費用の内訳 = 1

17.5cmを超え20.0cm以下
全ての費用

J02 砕石の種類 = 8

再生クラッシュラン 40~0

第 81 号 単価表

圧入掘削積込工

φ 900mm粘性土N≤10
掘削深4.823m

4.823 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
圧入掘削積込工	φ 900mm粘性土5<N≤30 掘削深H2≤10.0m	m	4.823			第 113 号単価表参照
ブロック溶接工	溶接接合	箇所	3			第 114 号単価表参照
仮設ケーシング設置・撤去工	1号 MM1K-H	箇所	1			第 115 号単価表参照
計	4.823 m 当り					
	1 m 当り					

第 82 号 単価表

底盤コンクリート

φ 900mm

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
底盤コンクリート打設工	24-8-25(20) W/C55%以下	m3	0.47			第 116 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 83 号 単価表

圧入掘削設備

φ 900mm粘性土N≤10
掘削深4.823m

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械設置撤去工	φ 900mm	回	1			第 117 号単価表参照
機械退避・再設置工	φ 900mm	回	1			第 118 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 84 号 単価表

コンクリート製ブロック

刃口・直壁

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
刃口	KS1-45	個	1			資材価格調査
直壁	KM1S-120	個	2			資材価格調査
直壁	KM1S-150	個	1			資材価格調査
計	1 式 当り					

第 85 号 単価表

仮設ケーシング損料

L=1.0m、1.5m

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設ケーシング損料	L=1.0m	個	1			資材価格調査
仮設ケーシング損料	L=1.5m	個	1			資材価格調査
計	1 式 当り					

第 86 号 単価表

路面覆工

φ 2000mm

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
円形覆工板設置工	φ 2000mm	箇所	1			第 119 号単価表参照
円形覆工板撤去工	φ 2000mm	箇所	1			第 120 号単価表参照
円形覆工板開閉工	φ 2000mm	回	1			第 121 号単価表参照
円形覆工板賃料	1ヵ月以下	式	1			第 122 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 87 号 単価表

蓋(受枠とも)

調整コンクリートブロック据付工

1 組 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9 t 吊	日				
諸雑費		式	1			
計	1 組 当り					

SDGD10810

J01 作業区分 = 2

調整コンクリートブロックを使用しない

J02 トラッククレーン賃料補正 = 1

標準 (1.0)

第 88 号 単価表

足掛け金物取付工

1 段 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 段 当り					

第 89 号 単価表

ブロック据付工

1 個 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
モルタル工	配合1:3	m3	0.005			第 123 号単価表参照
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9 t吊	日				
諸雑費		式	1			
計	1 個 当り					

第 90 号 単価表

スリム内副管設置工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スリム型内副管	1号スリム UFMBT200×150 金具付	個	1			
スリム内副管用立て管	1000L	本	1			
スリム内副管用エルボ	150用	個	1			
スリム内副管用固定バンド	150用	個	2			
内副管取付工	1.5m以上2.0m以下	箇所	1			第 98 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 91 号 単価表

目地工

部材目地部

100 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
モルタル工	配合1:2	m3	0.16			第 124 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	100 箇所 当り					
	1 箇所 当り					

第 92 号 単価表

土砂等運搬

クラムシェル積込、10tDT運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 1 標準
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J12 運搬距離 (km) (DID区間有) = 9 24.5km以下

J02 積込機種・規格 = 4
 J04 DID区間の有無 = 2

クラムシェル平積0.4m3または平積0.8m3
 有り

第 93 号 単価表

バックホリ排対(2次)

山積0.28m3(平積0.2m3)

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				
軽油		L	5.9			
バックホウ(クローラ) [標準]	排ガス型(第2次) 山積0.28m3	時間				
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	1時間 当り					

SDGD10032

第 94 号 単価表

砂基礎設置工(機械施工)

(市場単価)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎工(手間のみ)	砂基礎設置 機械施工 R7月単位現場閉所	m3	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m3 当り					

SDGD60040

J01 施工規模 = 1

10m3以上

J02 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J03 夜間作業補正 = 2

無

第 95 号 単価表

砕石基礎工

機械投入埋戻工

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン	RC-40	m3	24			
諸雑費		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SDGD10700

J01 バックホウ規格区分 = 2

BH(1次) 山積0.28m3(平積0.20m3)

J02 砕石の厚さ(m) (実数入力) [m] = 0.2

第 96 号 単価表

インバートコンリート工

18-8-25 (高炉)

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホ(クロー) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
運転手 (特殊)		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 96 号 単価表

インバートコンリート工

18-8-25 (高炉)

1 m3 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2
 J03 コンクリート規格 = 41
 J13 費用の内訳 = 1

小型構造物
 18-8-25 (高炉)
 全ての費用

J02 打設工法 = 3
 J05 養生工の種類 = 2

バックホウ (クレーン機能付) 打設
 一般養生

第 97 号 単価表

モルタル上塗り

マンホール用
配合比1:2

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
左官		人				
普通作業員		人				
モルタル練		m3	0.02			1*(20/1000) 第 125 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m2 当り					

SDGD10740

J01 配合比 = 3
J03 セメント種類 = 2

配合比 1 : 3
高炉

J02 モルタル厚さ(10~30mm) (実数入力) [mm] = 20

第 98 号 単価表

内副管取付工

1.5m以上2.0m以下

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD10825

J01 段差(m) = 2

段差1.0m以上～1.5m未満

第 99 号 単価表

運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
 J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 100 号 単価表

殻運搬

10tDT運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3
 J03 DID区間の有無 = 2
 J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
 有り
 全ての費用

J02 積込工法区分 = 3 機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
 J08 運搬距離 (km) (DID区間有) = 5 10.5km以下

第101号 単価表

土砂等運搬

4tDT運搬処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

J02 積込機種・規格 = 5
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
 有り

第102号 単価表

下層路盤工

下層路盤 RC-40 t=200

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クロー型)[後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド式]	運転質量3~4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手(特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 102 号 単価表

下層路盤工

下層路盤 RC-40 t=200

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 200

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工

全ての費用

第 103 号 単価表

上層路盤工

上層路盤 RM-30 t=150

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド式]	運転質量3~4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手(特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM-30	%	Z1			

第 103 号 単価表

上層路盤工

上層路盤 RM-30 t=150

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 150

J03 材料 = 2

再生粒度調整碎石 RM-30

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第104号 単価表

アスファルト舗装工

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第104号 単価表

アスファルト舗装工

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410261
 J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 11
 J07 費用の内訳 = 1
 1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)
 再生密粒度アスコン (1 3)
 全ての費用
 J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50
 J06 瀝青材料種類 = 2
 プライムコート PK-3

第 105 号 単価表

道路付属物撤去工（車線分離標）

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
車線分離標撤去	固定式 貼付式 R7月単位現場閉所	本	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 本 当り					

SWB812410

J01 施工区分 = 3

貼付式

J02 施工規模 = 3

10本未満

J03 夜間作業の補正 = 1

無

J04 時間制約を受ける場合の補正 = 1 無

第106号 単価表

道路付属物設置工

(車線分離標 [ラバーポール] 設置)

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
車線分離標 (ラバーポール) 設置 固定式	貼付式 φ80 高さ800mm R7月単位現場閉所	本	1			
車線分離標 (ラバーポール) 固定式	貼付式 φ80 h800	本	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1本 当り					

SWB812400

J01 施工区分 = 3
 J03 規格・仕様 = 3
 J05 夜間作業の補正 = 1

固定式 (貼付式)
 本体 (柱) 径φ80ベース径φ250高800
 無

J02 材料費区分 = 2
 J04 施工規模 = 3
 J06 時間制約を受ける場合の補正 = 1 無
 手間のみ
 10本未満

第 107 号 単価表

区画線設置

白 実線 15cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間	豪雪無 実線15cm 制約受ける R7月単位現場閉所	m	1,000			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	570			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	25			
接着用プライマー	区画線用	kg	25			
軽油		L	40			
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 1 実線 15cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第108号 単価表

区画線設置

白 文字換算 15cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間	豪雪無 矢印・記号・文字 制約受 R7月単位現場閉所	m	1,200			1000*1.2
トラフィックペイント 熔融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	684			570*1.2
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	30			25*1.2
接着用プライマー	区画線用	kg	30			25*1.2
軽油		L	120			100*1.2
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 熔融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1
 J04 規格・仕様区分 = 13
 J06 塗布厚 = 1
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1
 J11 塗料区分 = 1
 J13 費用の内訳 = 1

熔融式手動
 矢印・記号・文字 15cm換算
 1.5mm
 無し
 白
 全ての費用

第 109 号 単価表

区画線設置

白 実線 45cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間	豪雪無 実線45cm 制約受ける R7月単位現場閉所	m	1,000			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	1,700			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	75			
接着用プライマー	区画線用	kg	75			
軽油		L	73			
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 4 実線 45cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第110号 単価表

区画線設置

白 破線 30cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間	豪雪無 破線30cm 制約受ける R7月単位現場閉所	m	1,000			
トラフィックペイント 熔融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	1,130			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	50			
接着用プライマー	区画線用	kg	50			
軽油		L	73			
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 熔融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 熔融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 7 破線 30cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 111 号 単価表

貨物自動車による運搬 (1車1回)

1 台 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 50kmまで	台	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 台 当り					

SWB010010

J01 運搬区分 = 7 各種
 J03 その他の諸料金の有無 = 2 無

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 50
 J05 運搬中の賃料(損料)の有無 = 2 無

第 112 号 単価表

タンパ締固め

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量 60～80kg	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210450

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 113 号 単価表

圧入掘削積込工

φ 900mm粘性土5<N≦30
掘削深H2≦10.0m

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
圧入機運転費	φ 900mm	時間				第 126 号単価表参照
油圧クラムシェル	テレスコピック式(平積0.2m3)	時間				第 127 号単価表参照
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9 t 吊	日				
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

第 114 号 単価表

ブロック溶接工

溶接接合

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ブロック溶接工	溶接接合	m	1.1			第 128 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 115 号 単価表

仮設ケーシング設置・撤去工

1号 MM1K-H

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
圧入機運転費	φ 900mm	時間				第 126 号単価表参照
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4. 9 t 吊	日				
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 116 号 単価表

底盤コンクリート打設工

24-8-25(20)
W/C55%以下

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
生コンクリート	24-8-25(20) W/C55%以下	m3	10.4			
諸経費(まるめ)		式	1			
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

第 117 号 単価表

機械設置撤去工

φ 900mm

1 回 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
圧入機運転費	φ 900mm	時間				特別調査 第 126 号単価表参照
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	25 t 吊	日				
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 回 当り					

第 118 号 単価表

機械退避・再設置工

φ 900mm

1 回 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
圧入機運転費	φ 900mm	時間				資材価格調査 第 126 号単価表参照
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]	2 5 t 吊	日				
トラック運転	4 t 積	時間				資材価格調査 第 129 号単価表参照
トラック運転	11 t 積	時間				資材価格調査 第 130 号単価表参照
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 回 当り					

第 119 号 単価表

円形覆工板設置工

φ 2000mm

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
クレーン装置付トラック	4～4.5 t 級 2.9 t 吊	時間				第 131 号単価表参照
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 120 号 単価表

円形覆工板撤去工

φ 2000mm

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
クレーン装置付トラック	4～4.5 t 級 2.9 t 吊	時間				第 131 号単価表参照
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 121 号 単価表

円形覆工板開閉工

φ 2000mm

1 回 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4. 9 t 吊	日				
諸経費 (まるめ)		式	1			
計	1 回 当り					

第 122 号 単価表

円形覆工板賃料

1ヵ月以下

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
円形覆工板賃料	1ヵ月以下	月	1			
円形覆工板賃料	整備料	枚	1			
計	1 式 当り					

第 123 号 単価表

モルタル工

配合 1 : 3

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
セメント (普通ポルトランド)	25kg 袋入	t	0.53			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m ³	1.05			
計	1 m ³ 当り					

第 124 号 単価表

モルタル工

配合 1 : 2

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
セメント (普通ポルトランド)	25kg 袋入	t	0.72			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m ³	0.95			
計	1 m ³ 当り					

第 125 号 単価表

モルタル練

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
材料構成比		%	Z			
セメント（高炉B）	25kg袋入	%	Z1			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	%	Z2			
	1 m3 当り					

SCB240060

J01 セメント種類 = 2

高炉

J02 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 126 号 単価表

圧入機運転費

φ 900mm

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	6.5			
圧入機損料		時間				資材価格調査
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 時間 当り					

第 127 号 単価表

油圧クラムシェル

テレスコピック式(平積0.2m3)

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	7.2			
油圧クラムシェル・テレスコピック式	バケツ容量(平積0.2m3)	時間				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 時間 当り					

SDGD40120

第 128 号 単価表

ブロック溶接工

溶接接合

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
溶接工		人				
諸経費（まるめ）		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

第 129 号 単価表

トラック運転

4 t 積

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
軽油		L	6.9			
機械損料		時間				資材価格調査
計						1 時間 当り

第 130 号 単価表

トラック運転

11 t 積

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
軽油		L	13			
機械損料		時間				資材価格調査
計						1 時間 当り

第 131 号 単価表

クレーン装置付トラック

4～4.5t級2.9t吊

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	5.3			
トラック [クレーン装置付]	ベ-トラック4~4.5t積 吊能力2.9t	時間				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計						1 時間 当り

SDGD40291

管布設工・マンホール設置工

工 種	形 状 寸 法	単 位	合 計
管布設工			
1) 本管布設工			
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径200mm 昼間	m	115.9
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径250mm 昼間	m	109.4
2) 本管土工			
機械掘削工	BH0.28 昼間	m ³	473
砂基礎設置工(機械施工)	改良土 昼間	m ³	110
機械投入埋戻工(バックホウ)	改良土 昼間	m ³	330
発生土運搬工	BH0.28積込、4tDT運搬 昼間	m ³	440
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分(処分費込み) 昼間	m ³	33
3) 本管土留工			
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.28 昼間	m	79.0
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	79.0
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.5m以下 BH0.28 昼間	m	32.5
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	32.5
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.0m以下 BH0.28 昼間	m	121.0
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.0m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	121.0
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.5m以下 BH0.28 昼間	m	3.0
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	3.0
土留支保工(軽量金属支保工)	2.0m以下 昼間	m	79.0
土留支保工(軽量金属支保工)	3.5m以下 昼間	m	156.5
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1
マンホール設置工			
1) 組立1号マンホール設置工			
マンホール鉄蓋(浮上・飛散防止)	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	12
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ600mm ロック付き	個	9
組立1号マンホール	内径900mm、H=2.8m	基	12
底部工(開削部)	1号マンホール 昼間	箇所	11
底部工	立坑部 昼間	箇所	1
組立マンホール設置工	1号 3m以下 昼間	箇所	12
マンホール削孔費		式	1
無収縮モルタル	調整高 3cm	箇所	12
スリム内副管設置工		式	1
2) 小型レジンマンホール設置工			
レジン用 鋳鉄製マンホール蓋	φ300mm用 T-14	組	1
レジンコンクリート製マンホール 中間用	内径300mm H=1.58m	基	1
小型マンホール設置工(レジンコンクリート製)	2.0m以下	箇所	1
無収縮モルタル	調整高 3cm	箇所	1

ます設置及び取付管布設工・附帯工

工 種	形 状 寸 法	単 位	合 計
ます設置及び取付管布設工			
1) 小口径汚水ます設置工			
ます設置工(塩化ビニル製)	ます径φ200 昼間	箇所	13
2) 取付管設置工			
取付管布設および支管取付工	φ150mm塩ビ管 塩ビ管3m以上5m未満	箇所	13
3) 取付管土工			
機械掘削工	BH0.28 昼間	m ³	19
養生土運搬工	4tDT運搬 昼間	m ³	18
機械投入埋戻工(バックホウ)	改良土 昼間	m ³	18
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処理(処分費込み) 昼間	m ³	2
付帯工			
1) 附帯工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m	578
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 昼間	m ³	1.0
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m ²	272
As廃材運搬処分工	10tDT運搬、処分費込み 昼間	m ³	14
路盤掘削工	BH0.28 昼間	m ³	68
路盤廃材運搬処分工	4tDT運搬 処分費込み 昼間	m ³	68
路盤工及び舗装工市道一般	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)	m ²	272
ラバーボール撤去・設置工	手間のみ 昼間	本	7
2) 舗装復旧工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m	118
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 昼間	m ³	0.2
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m ²	1181
As廃材運搬処分工	10tDT運搬、処分費込み 昼間	m ³	59
不陸整正	RM-30	m ²	1181
アスファルト舗装工	表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート) 昼間	m ²	1181
区画線工		式	1
3) 仮設工			
交通誘導員B	昼間	人日	210
共通仮設費			
1) 運搬費			
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 往路 昼間	t	7.604
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 往路 昼間	t	7.604
仮設材等の積込み取卸し費	往復分 昼間	t	7.604
機器輸送費	コンクリート製ブロック圧入式 復路 昼間	式	1
機械積込み積卸し	コンクリート製ブロック圧入式 昼間	式	1

設計基本情報

項目	内容	備考
単価世代	2026年6月1日	
諸経費の工種	下水道工事(2)	
施工地域補正	一般交通影響有り(1)-3	
時間的制約状況(昼間)	制約を受ける	作業時間：7.5時間(1.06)但し、交通誘導員については、時間的制約を考慮しない。
週休2日補正	有り	月単位<現場閉所>
労務費	端数処理	労務費単価の端数処理は、小数点以下を切捨てし、1円単位とする。
その他		

一式当たり内訳書

種別	細別	名称	規格	単位	数量	摘要
立坑工						
	ライナープレート式土留工及び土工	仮設鋼材損料及び修理損耗費	ライナープレート・円形覆工板等	日	39	立坑No. 47-2 供用日数
管布設工						
	本管土留工	仮設鋼材損料	アルミ矢板 H=2.0m (支保2段)	日	7	1回当使用量60枚
			アルミ矢板 H=2.5m (支保2段)	日	9	1回当使用量54枚
			アルミ矢板 H=2.5m (支保2段)	日	5	1回当使用量50枚
			アルミ矢板 H=3.0m (支保2段)	日	13	1回当使用量44枚
			アルミ矢板 H=3.5m (支保2段)	日	25	1回当使用量38枚
			支保工 1段	m	79	使用回数1回
			支保工 2段	m	156.5	使用回数1回
マンホール設置工						
	組立1号マンホール設置工	組立1号マンホール	内径900 H=2.8m	基	12	調整金具25mm、調整リング50mm、 斜壁300mm、直壁600mm、<体1800mm
	小型レジンマンホール設置工	小型レジンマンホール	内径300 H=1.58m	基	1	調整リング50mm、上部壁200mm、底版70mm 直壁900mm、取付壁370mm

契約条件明示及び特記仕様書

市川第4-4処理分区高塚新田第1号污水幹線工事(R8-1工区)

一般事項

1-1 適用

本仕様書は、松戸市が発注する「市川第4-4処理分区高塚新田第1号污水幹線工事(R8-1工区)」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書の定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

1-2 目的

本工事の目的は、より良い市民生活を目指す本市下水道整備事業に基づき、その計画を遂行する為に必要な施設を構築することにある。受注者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

1-3 施工計画書

1. 受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。この場合、受注者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。なお、計画においては、請負者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画するものとし、設計内容を熟知した上で、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

- (1) 工事概要
- (2) 計画工程表
- (3) 現場組織表
- (4) 指定機械
- (5) 主要機械
- (6) 主要資材
- (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- (8) 施工管理計画
- (9) 安全管理
- (10) 緊急時の体制及び対応
- (11) 交通管理
- (12) 環境対策

(13) 現場作業環境の整備

(14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

(15) その他

2. 受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。
3. 受注者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。
4. 本工事の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、受注者において任意に計画できるものとし、その詳細については施工計画書に明示しなければならない。

1-4 使用材料

受注者は、工事着手前に設計図書及び監督職員に指定された材料について監督職員に提出しなければならない。

1-5 施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。

1-6 工事着手前の確認

1. 受注者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。
2. 受注者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。
3. 受注者は、工事の施工に当たり、損傷の受けるおそれのある境界杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて適切な措置を講じなければならない。
4. 既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。
5. 請負者においては万が一の影響を考慮し、工作物等の状況を原則所有者立ち会いまたは了解を得て写真により記録し、施工計画書と共に監督職員に提出するものとする。工事用地、資材及び重機置場として借地した土地の近接家屋についても同様とする。

1-7 その他

1. 施工管理に関しては、十分に工程を管理し定期的にフィードバックするとともに毎月1回下水道施工管理様式（下水道第4号様式）に基づき月間工程報告書を提出しなければならない。
2. 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。
3. 現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工のしていないときにも危険のないようにしておかなければならない。
4. 受注者は工事（工事請負代金額が500万円以上（消費税を含む））の施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工計画書に明記して提出することができる。
5. 本工事施工に先立ち、下記のとおり移設工事等あり、企業者と連絡をとり立会い等行うこと。

5-1 地上支障物・地下埋設物の有無

管理者	支障物件	支障位置	対処方法	対処時期
東京電力	—	—	—	—
N T T	—	—	—	—
J C O M	—	—	—	—
京葉ガス(株)	—	—	—	—
千葉県企業局	—	—	—	—

5-2 企業者立会い等及び現地を確認して疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議すること。

環境対策について

1. 受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
2. 受注者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する苦情に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。
3. 工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、受注者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

交通安全管理について

1. 本工事は昼間作業(9:00～17:00)を原則とする。施工中の交通整理員は、1日3名以上の配置を原則とするが、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。
2. 交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通(通行人を含む)等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。
3. 施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。
4. 本工事で使用する建設機械や資材等は、原則夜間・休日に道路上に放置してはならない。なお、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。
5. 集中豪雨に対する対策を具体的に、施工計画に明記すること。

建設副産物について

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「**建設リサイクル推進計画2020**」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、柏市岩井 296-1 番地先、片道運搬距離 16.2 kmの(株)エスブロックに搬出するものとする。建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。発生土(461m³)は、鎌ヶ谷市初富808地先、仮置き場所から片道5.4kmの(株)将綾に搬出し処理するものとする。

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材(68m³)は、柏市風早1-5-1地先、片道運搬距離13.3kmの東京石油興業(株)に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

- 1) アスファルト・コンクリート塊(73m³)は船橋市西浦2-13-1地先、片道運搬距離9.7kmの前田道路(株)船橋合材工場に運搬し、処理するものとする。
- 2) 建設汚泥(m³)は、市地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。
- 3) 汚泥、廃アルカリ(1.2m³)は、八千代市吉橋字内野1075-9地先、片道運搬距離18.1kmの千葉丸辰道路(株)に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- (1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

工事实績情報作成、登録（旧工事カルテ作成、登録）について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に完成時は、工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金 500 万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

週休 2 日制適用工事（現場閉所による週休 2 日工事）について

本工事は、週休 2 日制適用工事である。

受注者は、現場閉所による週休 2 日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）達成相当の経費を補正している。

受注者が、工事着手前に完全週休 2 日（土日）の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休 2 日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。

週休 2 日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休 2 日制適用工事实施要領」に基づき行うこと。

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事について

熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

情報共有システムの活用について

本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。実施にあたっては「松戸市土木工事情報共有システム試行要領」に基づくものとする。

品質証明について

1. 品質証明に従事する者（以下「品質証明員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査（完成、出来形、中間検査をいう。以下同じ。）の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により、検査時まで監督職員へ提出しなければならない。（別紙様式1、別紙様式3（独自の様式でも可））
2. 品質証明員は、当該工事に従事していない社内の者とする。また、原則として品質証明員は検査に立会わなければならない。
3. 品質証明は、契約図書及び関係図書に基づき、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。
4. 品質証明員の資格は10年以上の現場経験を有し、技術士もしくは1級土木施工管理技士の資格を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。
5. 品質証明員を定めた場合、書面により氏名、資格（資格証書の写しを添付）、経験及び経歴書を監督職員に提出しなければならない。なお、品質証明員を変更した場合も同様とする。（別紙様式2）
6. 品質確認の結果、改修すべきものがあつた場合は速やかに改修し、社内検査合格後、監督職員の確認を得るものとする。

(様式2)

品質証明員選任届

監督職員 殿

請負者 住所

氏名

工事名称

工 期 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで

請負金額

上記工事の品質証明員を下記のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて報告します。

記

	氏 名	経験年数	資 格
1			
2			
3			

以上

(様式3)

工事名称
検査日時
検査員氏名

社内検査記録

検査項目		認定基準	評価	特記事項
書類に関する事項	施工計画書	施工計画書は適切に活用されているか。		
		施工計画書と実施が異なる場合には適切に処理されているか。		
	工程管理	工程表を作成し、工程をフォローアップしているか。		
	協議書等の整理	協議書、指示書は適切に処理されているか。		
		工程、工法、工期に変更がある場合はどうか。		
	出来形管理	出来形数量計算書及び完成図書は作成されているか。		
		出来形管理表は作成されているか。		
	品質管理	材料検査表、試験成績表、ミルシート等は整理されているか。		
		管理図表は整理されているか。		
		各工種、項目毎に管理基準精度を満足しているか。		
	写真管理	写真撮影内容は目的を満足しているか。		
		電子データ及びアルバムの整理は要領よくなされているか。		
		着工前、しゅん工後の写真はよく撮れているか。		
	安全管理	安全日誌、安全パトロール等の資料は整理されているか。		
		第三者への安全対策は充分になされているか。		
安全・訓練等の実施。				
現場に関する事項	出来形	目的物の出来形は設計図書を満足しているか。		
		二次製品は設計図書に示されている規格を満足しているか。		
		目的物の仕上がりはどうか。		
		隣接する他の工作物との取り合いはどうか。		
	後片付け及び現場の清掃	車道部、歩道部、特に目的物周辺の清掃。		
		残材の片付け。		
		隣接する家屋等の補償。		
		仮設工事用道路、現場事務所等の片付け清掃。		
	保安関係	保安施設は的確に設置されているか。		
		標識類の設置は適切か。		
第三者からの苦情処理は適切か。				
事故の発生状況。				
現場のイメージアップ	施工計画書のとおり実施しているか。(経費計上の場合)			
評価記号の判定	A : 90 点以上 B : 75~89 点 C : 60~74 点 D : 59 点以下 A、B は合格 C 以下は正			
(記事)				

土工

1. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、掘削の範囲や施工方法については請負者の定めるところによるものとする。
2. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、埋め戻しに使用する土砂は、改良土とし、建設副産物の再利用に寄与するものとする。但し、発生土が良質で埋戻し材として使用できると判断した場合は監督職員の承諾を得て使用できる。この場合、設計変更の対象となる。
3. 現場の状況により、再生砂を埋め戻し材として使用する場合は、1購入先あたり1検体の試験を行うものとする。六価クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定される測定法に基づき、あらかじめ土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。（「土壌の汚染に係る環境基準について」参照）
4. 排水施設工事（本管、取付管、マンホール等）の埋戻しは、構造物に影響が出ないように配慮し、図面等で別に定める場合を除き、1層の巻き出し厚は以下の通りとする。

松戸市道	一層30cm以内での転圧
千葉県管理道路	一層15cm以内での転圧
その他公道	管理者の基準に従うこと。
5. 掘削において、高さが規定されている場合は、余掘り等出来るだけ地山を乱さないように施工すること。また、掘削面が軟弱な場合は砂等で置換するなど検討すること。
6. 国道や県道、河川占用を伴う施工箇所がある場合において、その施工方法については管理者の許可条件に従わなければならない。
7. 改良土による埋戻しにあたっては、「埋戻しの施工管理基準」に従い管理しなければならない。
8. 立坑と人孔の間の埋戻し等、転圧が不十分となってしまう恐れがある場合は流動化処理土を使用すること。

マンホール工

1. マンホールの設置位置について、設計図書に示された事項をもとに、埋設物、道路交通、住民の生活、接続管きよの流入流出方向に注意し、施工はもちろん管理面についても配慮して決定しなければならない。なお、位置決定に際し、監督職員の確認を得なければならない。
2. マンホール天端の仕上がり高さ及び勾配は、道路または敷地の表面勾配に合致するよう仕上げなければならない。
3. マンホールふたの高さの調整にあたっては、調整リング、調整金具等で行い、調整部のモルタルは、無収縮モルタルにより十分充填すること。また、目地の破損が生じないように施工すること。
4. 組立マンホールを使用する場合は、箇所別に部材の割付を施工計画し、流入管（将来管を含む）が目地から 15 cm以上離隔をとるようにしなければならない。
5. 鉄ぶたについては、全て蝶番式の仕様とする。
6. マンホール内空高（マンホール芯の地盤高から、当該人孔最下流底高の差）が 2m以上については、転落防止用はしごを設置すること。
7. インバートの横断勾配は、10%とする。
8. 人孔の割付（中間スラブ、ステップ等の位置も含む）の計画を明確に作成し、材料承認で、監督職員に了承を得なければならない。
9. 管きよと人孔の接続には短管を使用すること。接続部については接合剤、モルタル等を使用し止水性を確保すること。

開削工、汚水ます設置及び取付管工

1-1 工程

開削工は日々復旧し交通開放後、通行に支障の無いようにしなければならない。路面表示等がある場合は、仮設の措置を必ず講ずること。

1-2 仮設

1. 土留工に関し、図面等の設計図書に記載のない事項については、施工者において、設計意図を踏まえ検討し、施工計画するものとする。但し、下記に示す事項は遵守するものとする。

支保工	$H \leq 2.0\text{m}$	1 段	
	$2.0\text{m} < H \leq 3.5\text{m}$	2 段	
	$3.5\text{m} < H$	3 段	H：掘削深

建込工法の根入れ長は 20cm 以上とる。

圧入工法の根入れ長は 50cm 以上とる。

2. 打ち込み矢板は、土べら落としを十分に行い、また引き抜きにおいては、1 枚おきや千鳥に抜くなど構造物に影響しないように施工すること。なお、施工が原因で目的物の品質低下が確認された場合は改善を求めることがある。
3. 図面上に記した仮設標記は、指定ではなく積算上の標記である。管布設を行うにあたり、安全や出来型、品質を確保するための仮設を請負者で検討し、施工計画に明示すること。

1-3 汚水ます設置及び取付管工

1. 汚水ますの設置位置については、使用者（地権者）の立会いを求め、再度確認のうえ決定しなければならない。
2. 設置完了後は、速やかに使用者及び地権者に設置確認印をもらうこと。
3. 私道ます設置においても、宅内ますと同様に対処すること。基本的に流入径は 150mm とし、流入方向はストレートとする。
4. ますは、宅地・私道形態等を十分に調査したうえ再確認すること。なお、最小ます深は流入口で 80cm とし、いたずらに深くすることを避けるとともにます深が 1.20m を超える場合は底部有孔式（ドロップ式）を検討すること。
5. 急勾配の場所に設置する場合は、ふたの設置に配慮した施工を心掛けること。
6. ますの取り付けは宅内改造をする側に立って使用者（地権者）に適切な助言をするとともに、使用者の要望が無い場合は取り付け位置を限定することのないよう施工すること。
7. ますの埋戻しは十分に行い、引渡し前にも確認すること。

舗装復旧工

1. 舗装構成は図面によるが、路盤については骨材の最大粒径の2倍を最小限度として複層転圧し密度を高めること。最大限度は以下の通りである。

松戸市道	上層路盤は15cm以下、下層路盤は20cm以下
千葉県管理道路	上層路盤、下層路盤共10cm以下
その他公道	管理者の基準に従うこと。

これによらない場合は密度試験を行い品質の証明をすること。
2. 本工事の路線は、全て管布設完了後、基準範囲の復旧仕上げとする。この際、即日にて舗設を行うこととする。また、舗装本復旧時にやむを得ず路盤にて開放する時は、監督職員と協議すること。ただし、休日の路盤開放は避けること。
3. 復旧は、解放後段差や凹凸など通行に危険のない様に行わなければならない。瑕疵による場合は引渡し後であっても改善を求めることがある。

小口径管推進工

1-1 適用

本仕様書は、推進工法に適用するものとする。

本工事の推進工法は、小口径管推進工法（オーガ方式）とする。

ただし、施工条件等の相違による方式変更の場合は別途協議の対象とする。

1-2 推進工

1. 本工事の推進工事は、施工条件等をよく検討し、受注者の責任において計画するものとする。また、その詳細について、監督職員に提示しなければならない。
2. 施工に先立ち、施工計画書に施工管理チェックリスト及び工事施工フローを添付し提出すること。
3. 推進機器等については、施工に支障がないように整備点検されたものを使用すること。
4. 受注者は、小口径推進機を推進管の計画高さ及び方向に基づいて設置し、作業工程ごとに確認し誤差を生じさせないようにしなければならない。
5. 推進施工中には、管1本毎に掘削ヘッドの挙動を管理することとするが、挙動範囲は施工計画において決定するものとする。また、何らかの理由により推進作業に異常が生じた場合は直ちに作業を中止し、監督職員に報告するとともに指示を受けること。
6. 推進工事の排水については、沈砂水槽を設置し、水質基準を守り雨水排水施設に放流すること。
7. プラント設備は、施工計画書に設備計画を明示すること。
8. プラント用地や資材置場等の管理は、第三者の侵入がないように十分に行い、夜間や休止中においてもフェンスやパトロール等で対応すること。

1-3 仮設

1. 本工事の工事目的物を築造するのに必要な仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、施工者において計画できるものとし、その詳細について監督職員に提示しなければならない。
2. 受注者においても本仮設工に対する施工技術検討を十分に行い、その内容を施工計画に記載し提出するものとする
3. 工事の施工については請負者の責任において実施するものとする。
4. 覆工板は、すべり止め加工したものを使用し、ガタツキ等や振動が発生しないように設置すること。

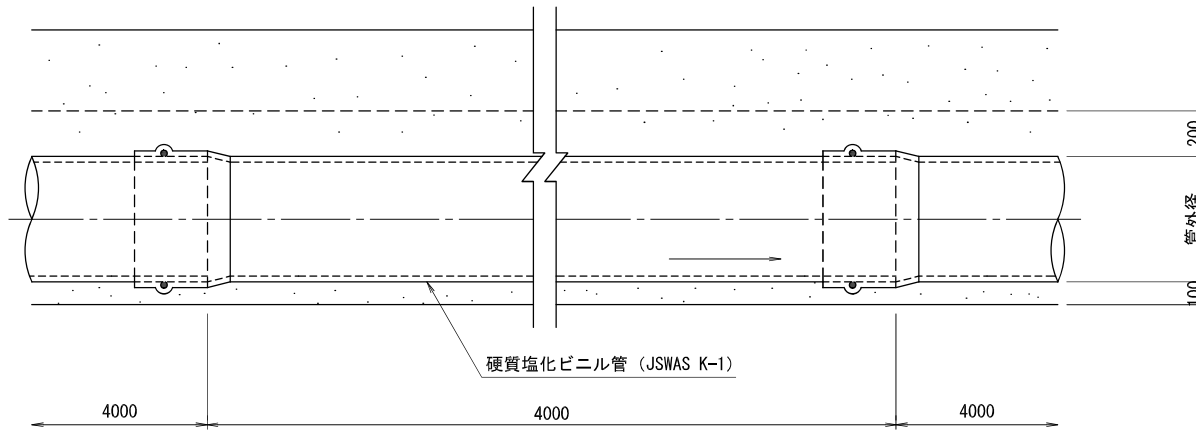
1-4 施工管理

1. 施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事施工管理基準に基づき行うものとするが、本工事の基準高については、規格値を±30mmとする。
2. 発進立坑においても、到達した管の高さ・方向が目標値に対しての変位を記録しなければならない。また、その結果を次の工程に反映させること。
3. 推進管理データシートを監督職員に提示し確認を得ること。
4. 立坑図に記載されている高さの表示は、全てマンホールを中心位置であるので、土留位置での高さは勾配を考慮して計画・管理しなければならない。
5. 坑口コア抜き工は、バイパス管から流入がある既設 No. 24-3 特殊マンホール内で作業を行うこと施工計画に明記すること

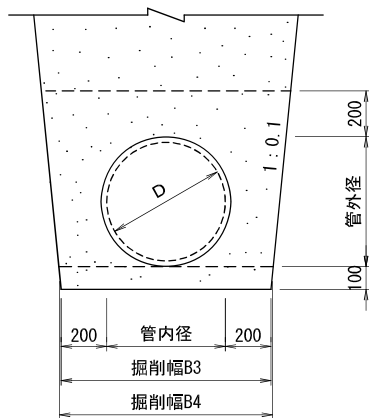
ライナープレート式立坑工

1. 受注者は、使用するライナープレートについては、諸条件を検討の上、十分に安全なものを選定し、施工計画書に明記し監督職員に提出しなければならない。
2. 受注者は、ライナープレート式土留工の施工において、周囲の状況を考慮し、掘削深さ、土質、地下水位、作用する土庄、上載荷重を十分検討し施工しなければならない。
3. 受注者は、ライナープレート式土留工の土留掘削に先行し、溝堀や探針等を行い、埋設物の有無を確認しなければならない。
4. 受注者は、ライナープレート土留掘削に当たっては先行掘削になるため、地盤が自立しているかを確認し順次掘り下げていかねばならない。又、常に鉛直を保持するとともに、余掘りは最小限にしなければならない。
5. 受注者は、掘削を1リングごとに行い、地山の崩壊を防止するために速やかにライナープレートを設置しなければならない。
6. 受注者は、1リング組立完了後、形状・寸法・水平度・鉛直度等を確保し、ライナープレートを固定するため、頂部をコンクリート及びH鋼等で組んだ井桁による方法で堅固に固定し、移動や変形を防止しなければならない。
7. 受注者は、ライナープレートの組立にあたっては、偏心と歪みを出来るだけ小さくするとともに、継ぎ目が縦方向に通らないよう千鳥状に設置しなければならない。また、土留背面と掘削壁との間に間隙が生じないようにグラウト注入し固定しなければならない。
8. 受注者は、補強リングを用いる場合には、補強リングをライナープレートに仮止めしながら継手版を用いて環状に組み立て、その後、下段のライナープレートを組み立てるときに、円周方向のボルトで固定しなければならない。

縦断図



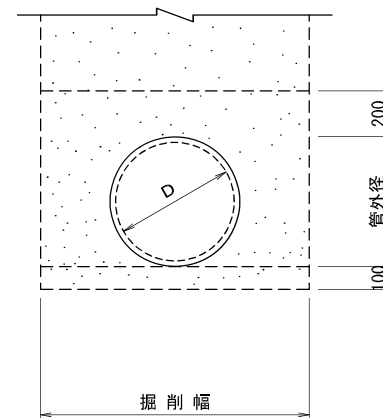
断面図(素掘り工法)



寸法表

呼び径 (D)	掘削幅 (mm)	
	B3	B4
150	550	750
200	600	620
250	650	670
300	700	720
350	750	770

断面図(土留め工法)



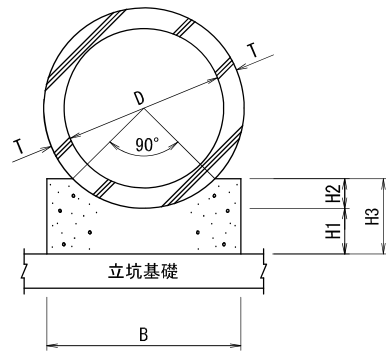
寸法表

呼び径 (D)	管外径 (mm)
150	165
200	216
250	267
300	318
350	370

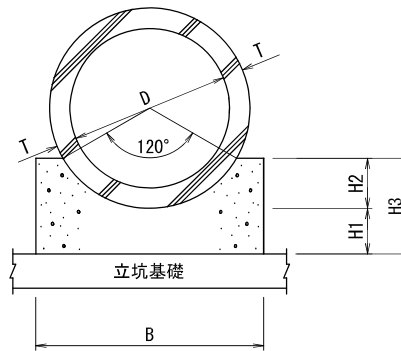
※管上に地下水がある場合の埋戻し材は、再生砂とする。

図面 縮尺	硬質塩化ビニル管基礎標準図	
	図番	1
松戸市 建設部		

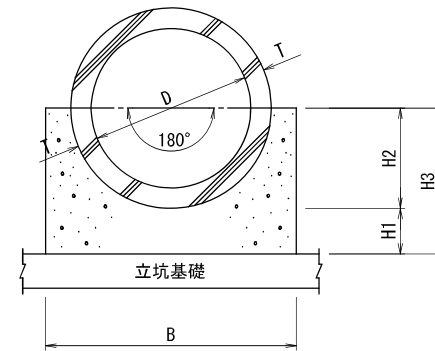
コンクリート90° 基礎



コンクリート120° 基礎



コンクリート180° 基礎



小口径推進管空伏工寸法表

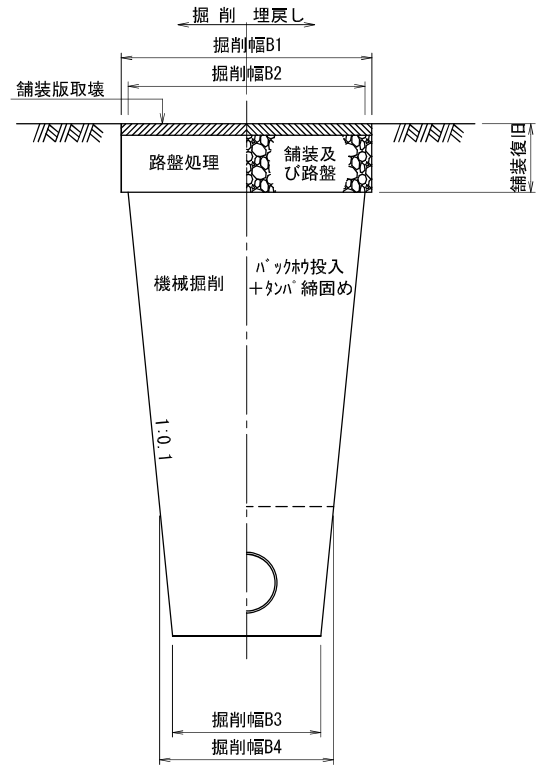
管径 (D)	管厚 (T)	管外径 (BC)	90° 基礎				120° 基礎				180° 基礎			
			H1	H2	H3	B	H1	H2	H3	B	H1	H2	H3	B
250	55	360	100	60	160	500	100	90	190	550	100	180	280	600
300	57	414	100	70	170	500	100	110	210	600	100	210	310	650
350	60	470	100	70	170	550	100	120	220	650	100	240	340	700
400	63	526	150	80	230	600	150	140	290	700	150	270	420	750
450	67	584	150	90	240	650	150	150	300	750	150	300	450	800
500	70	640	150	100	250	700	150	160	310	800	150	320	470	850
600	80	760	150	120	270	750	150	190	340	900	150	380	530	1000
700	90	880	200	130	330	850	200	220	440	1000	200	440	640	1100

※ B算出
 90° 基礎 = $\sin 45^\circ \times BC + 0.200$
 120° 基礎 = $\sin 60^\circ \times BC + 0.200$
 180° 基礎 = $BC + 0.200$
 (5cm単位に切り上げる)

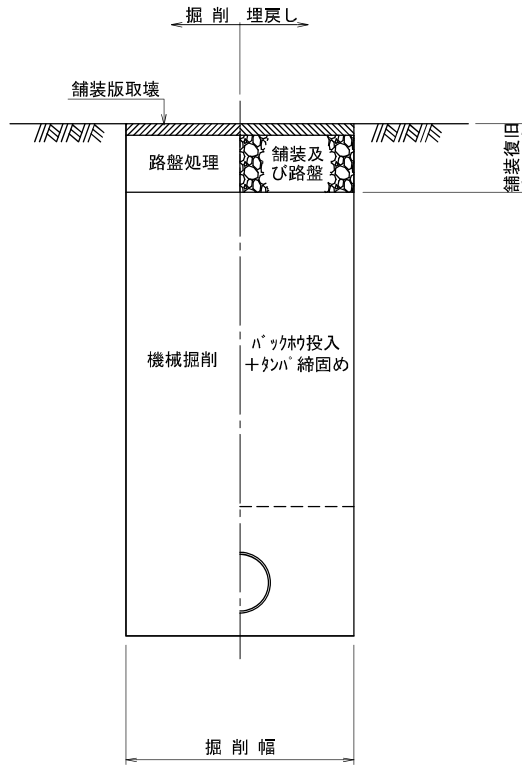
※H1, H3については立坑深により嵩上げを行なう。

図面	小口径推進管空伏標準図(1) (コンクリート 90°, 120°, 180° 基礎)		
縮尺	—	図番	4
松戸市 建設部			

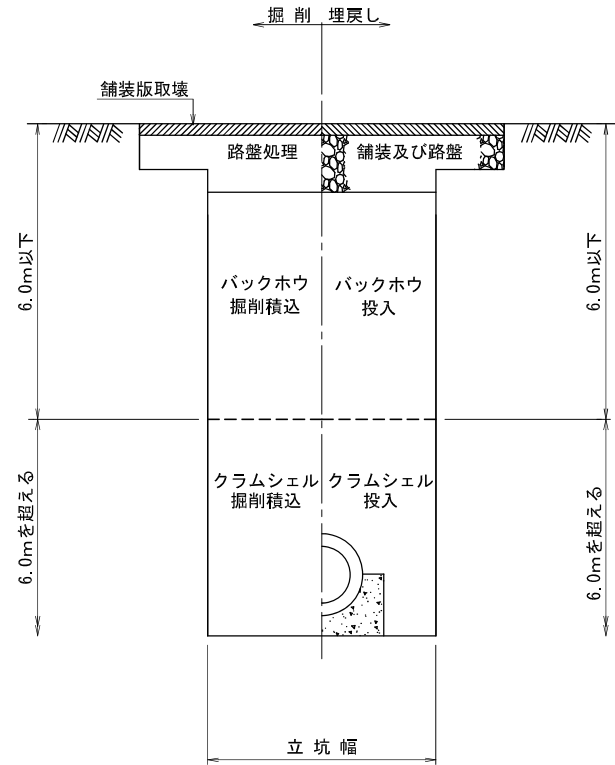
開削部(素掘り工法)



開削部(土留め工法)



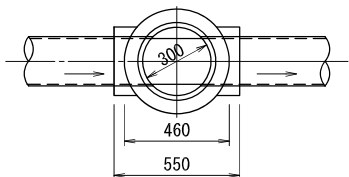
立坑部



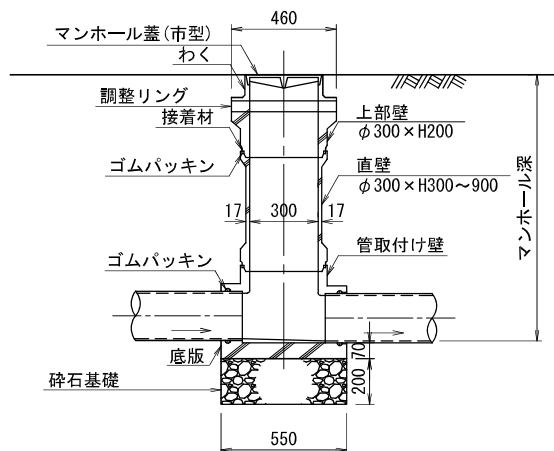
図面	土工図	
縮尺	—	図番 7
松戸市 建設部		

RMC30

平面図



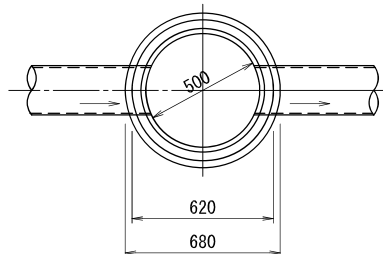
断面図



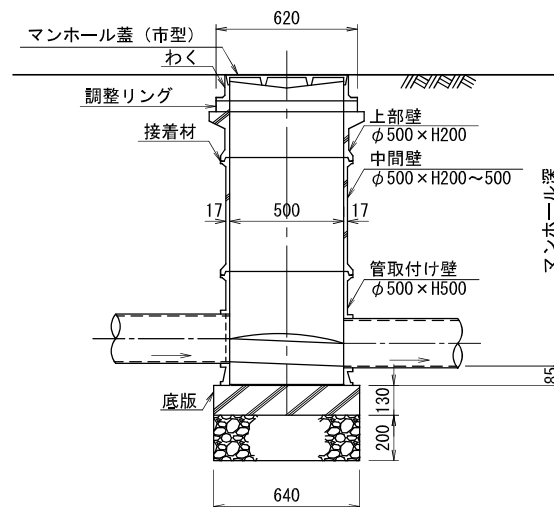
※受口、差口管は2m未満の管を使用する。
 ※上流、下流の落差は1cmとする。
 ※落差が大きくなる場合には、高所流入管用の直壁を使用すること。

RMC50

平面図



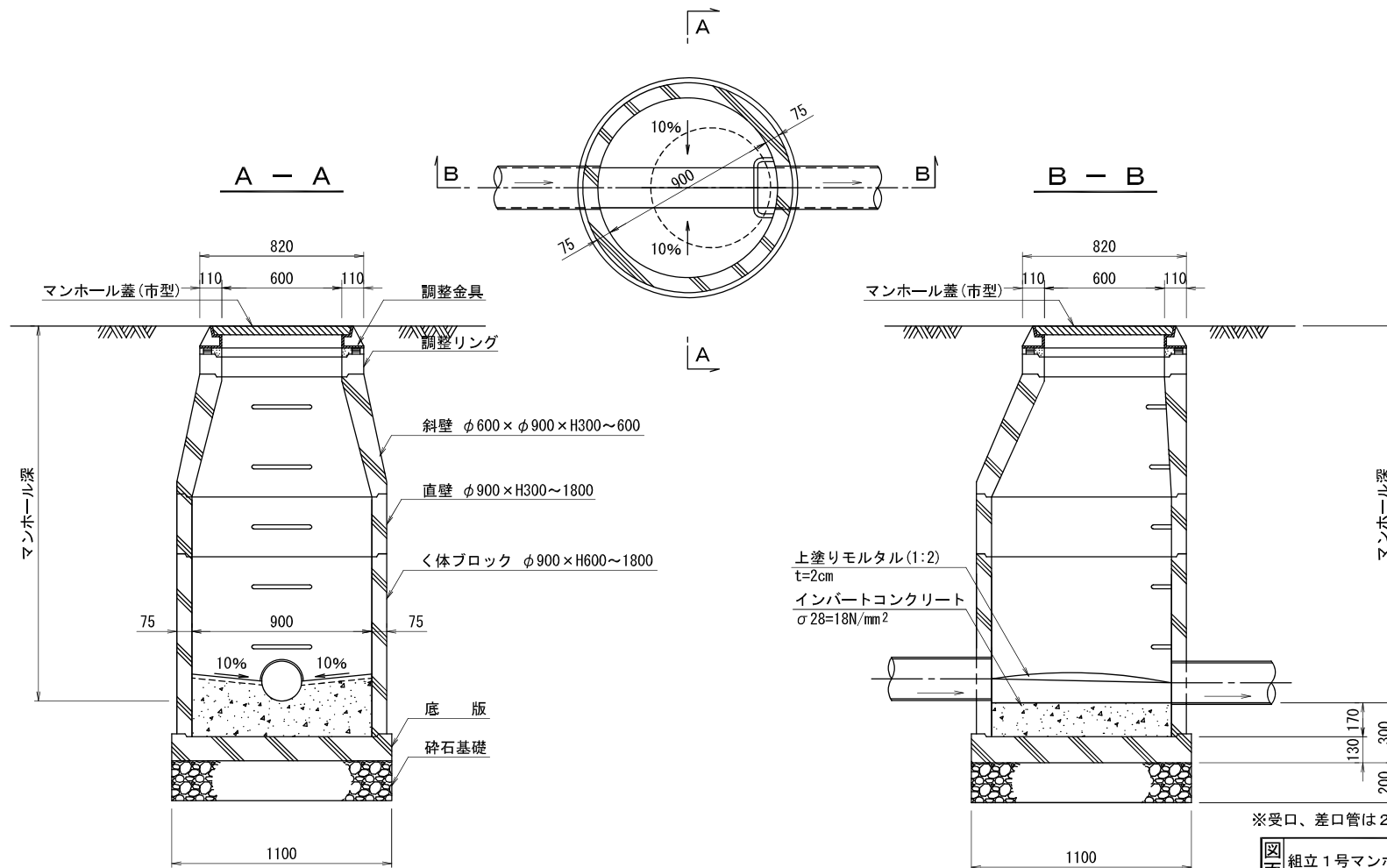
断面図



※上流、下流の落差は2cmとする。

図 面 縮 尺	プレキャスト製マンホール標準図(1)	
	1:20	図番 12
松戸市 建設部		

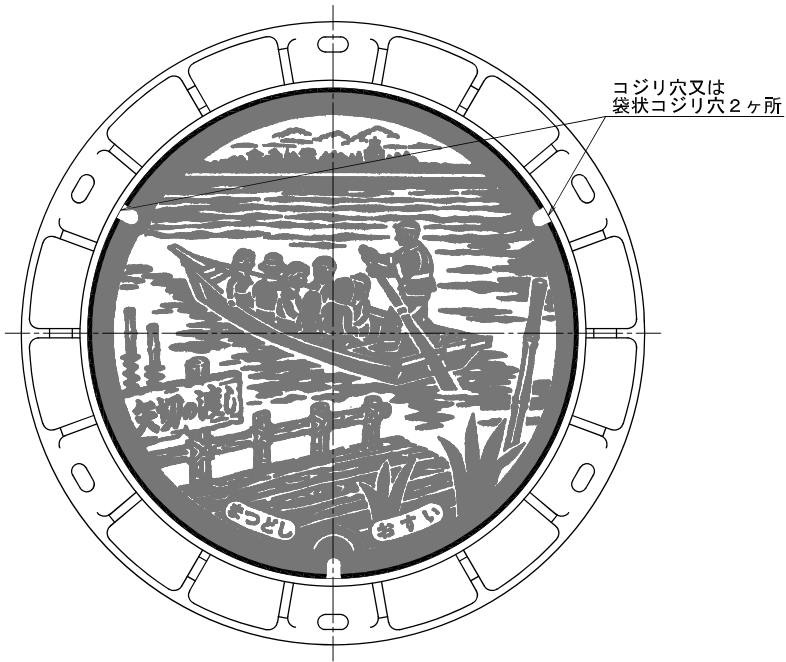
平面図



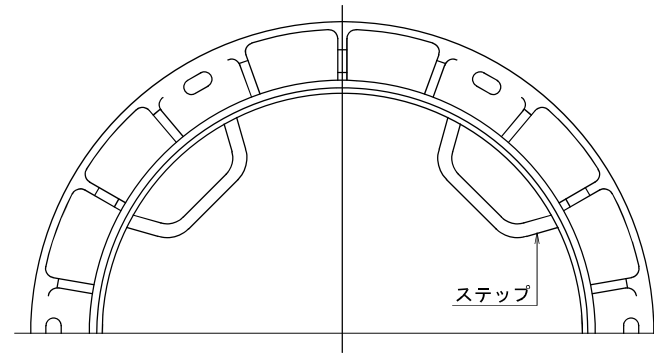
※受口、差口管は2m未満の管を使用する

図面	組立1号マンホール(内径900)標準図	
縮尺	1:20	図番 16
松戸市 建設部		

紋章平面図



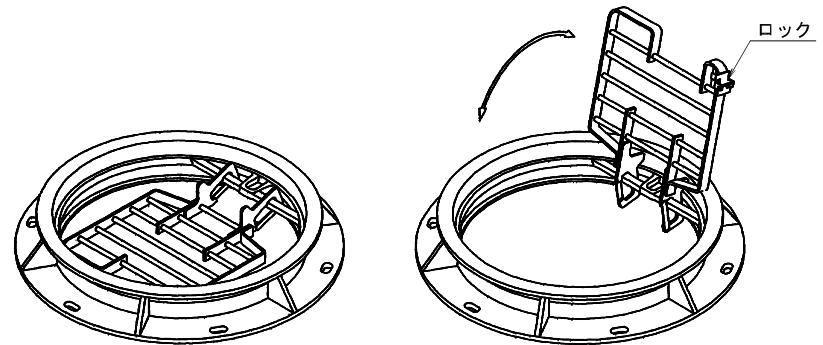
ステップ取付図 (参考)



(特記事項)

1. ふたと枠は蝶番で連結した構造とする。
2. 浮上防止機能及びロック機能付きとする。
3. 受け枠にはステップが付いたものとし、将来転落防止機能等を装備できる構造とする。
4. マンホール深が2m以上には、転落防止用梯子を設けるものとする。

ロック付転落防止用梯子図 (参考)



断面図

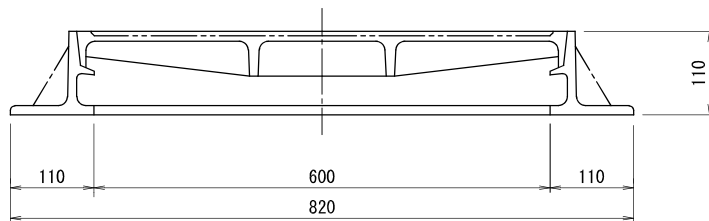
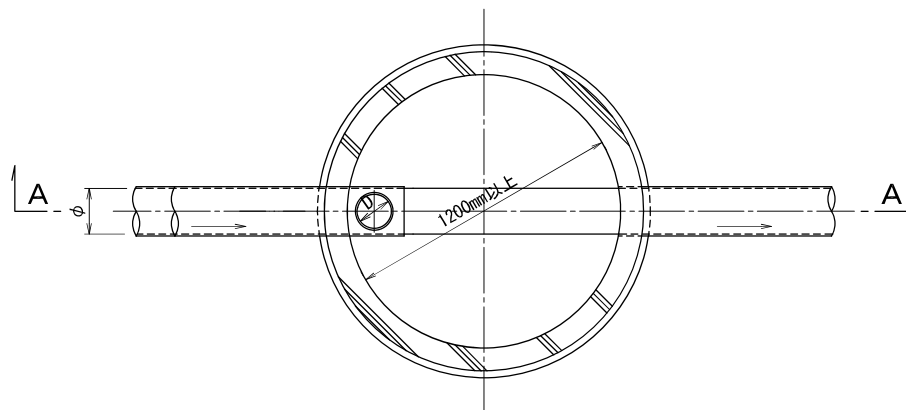


図 面 縮 尺	マンホール鉄蓋詳細図	
	1:6	図番 19
松戸市 建設部		

平面図

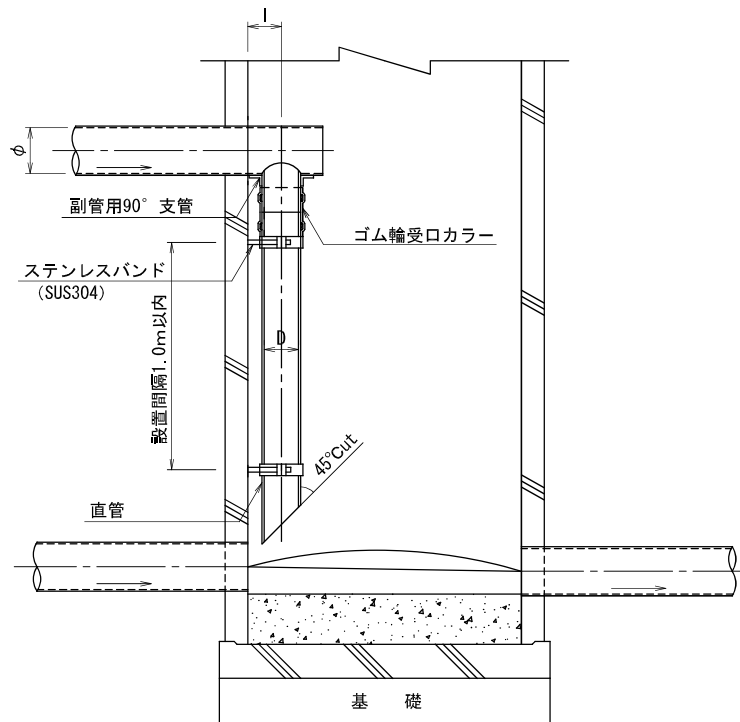


寸法表

(mm)

φ	D	I
200	150	150
250	200	150
300	200	150
350	200	150
400	200	150
450	250	150

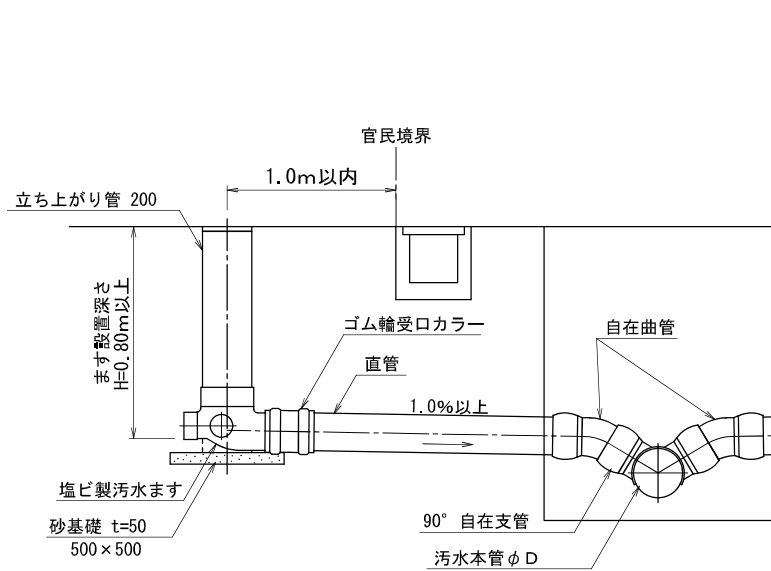
A - A



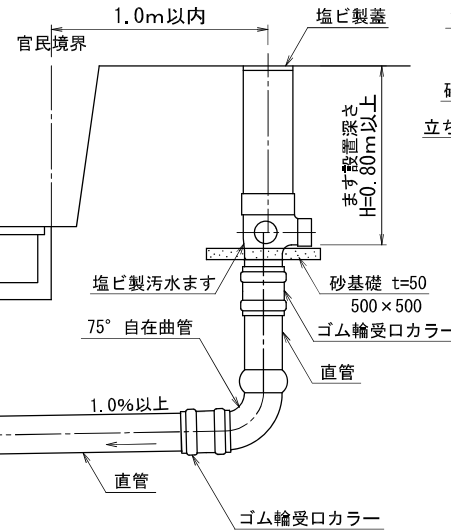
※ 上図は、上流側本管上にサービス管が布設させるケースを示す。
 ※ 内副管設置時は2号マンホール（内径1200mm）以上を原則とする。

図 面 縮 尺	内副管標準図(1)	
	1:20	図番 21
松戸市 建設部		

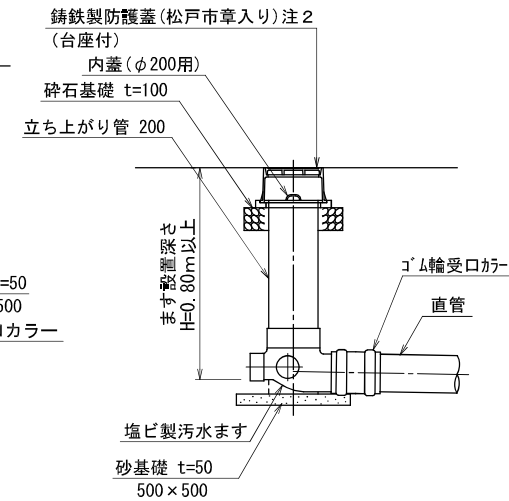
Aタイプ



Bタイプ

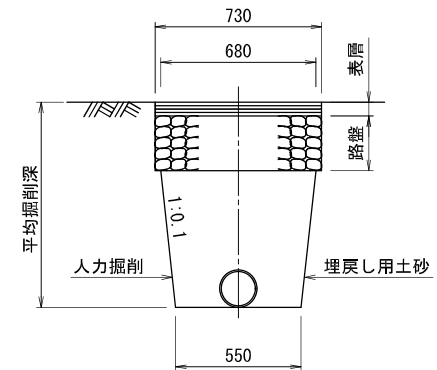


私道部(防護蓋)



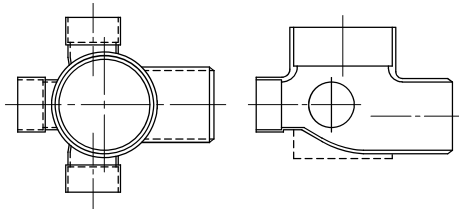
A-A

(取付管布設標準図)



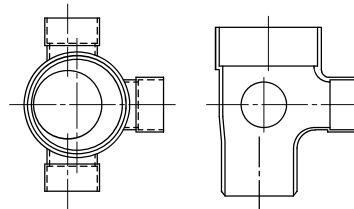
小型取付ます

Aタイプ



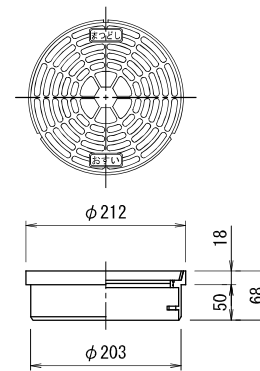
小型取付ます

Bタイプ



塩ビ製蓋紋章

(差し口形 ワンタッチ蓋)

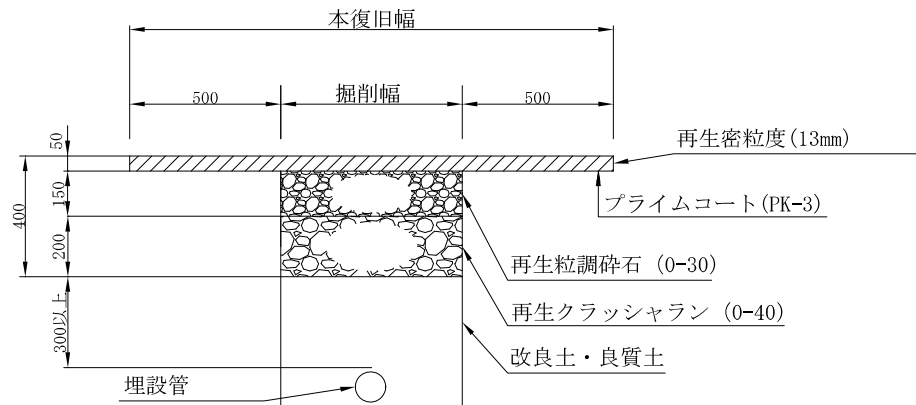


- 注1) 宅内用ます流入径は、φ100mm、私道用ます流入径は、φ150mmとする。
 注2) 私道部については、铸铁製防護蓋T-8以上(クサリ付)とし、通行量の多い場所や、大型車の通行が見込まれる場所等は、別途協議すること。
 注3) 松戸市章入りについては、「まつどし・おすい」と明記すること。
 注4) 共同住宅等の場合は、流入管径を協議上決定すること。

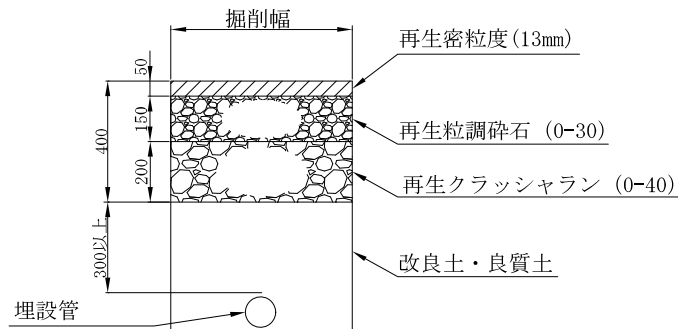
図面	塩ビ製汚水ます・取付管布設標準図(1)	
縮尺	1:20	図番 24
松戸市 建設部		

松戸市一般 (交通区分：N3・旧L交通)

本復旧



仮復旧

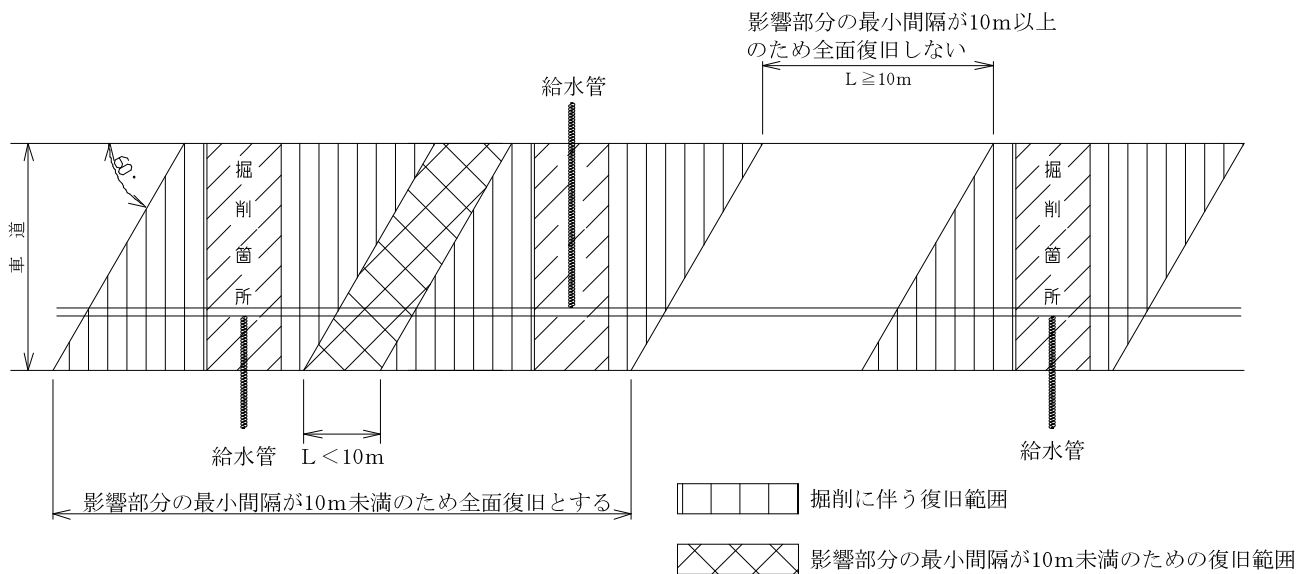


* 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

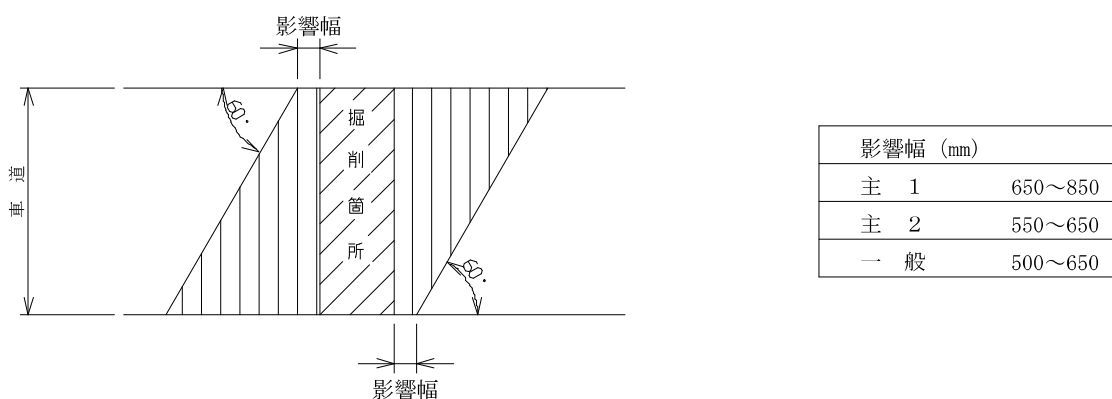
注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

車道本復旧施工図(横断) 占用適用図 (幅員 5 m未満)

横断占用が連絡する場合の本復旧施工例



掘削幅が狭い場合の本復旧施工例



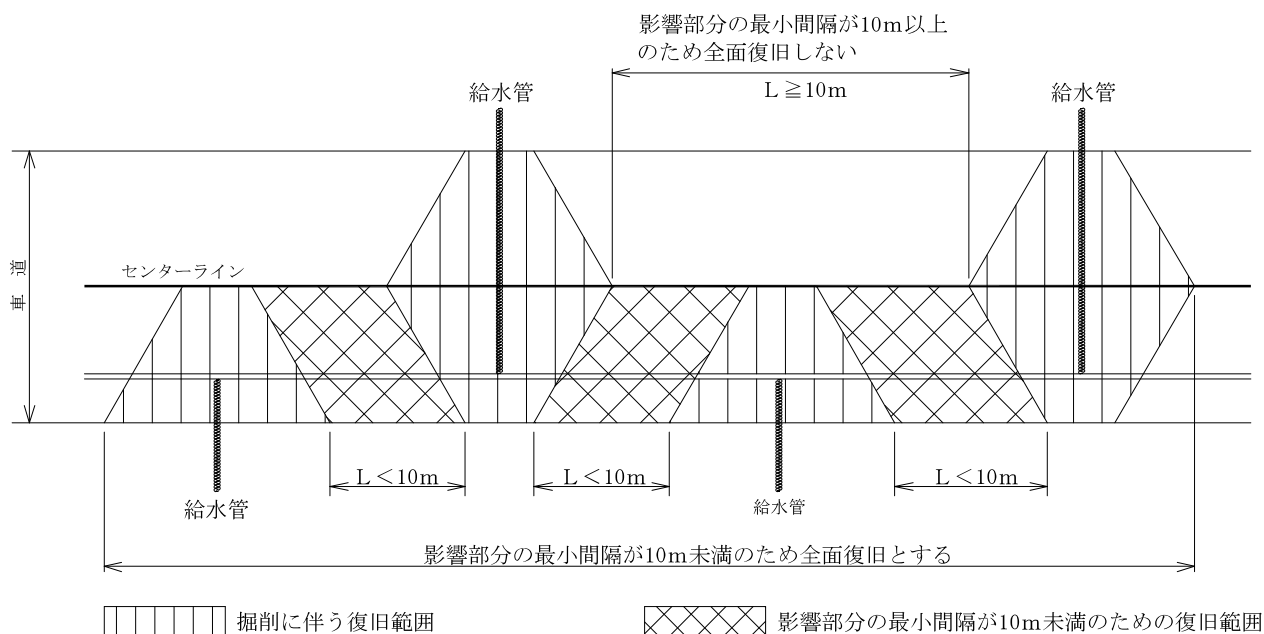
* 同一路線で他の工事と競合する場合の舗装本復旧は最終の施工者を定め、路面の舗装継目が最小になるよう一面整備とする。

注 道路付属物等の改築に伴うアスファルト復旧においても適用する。

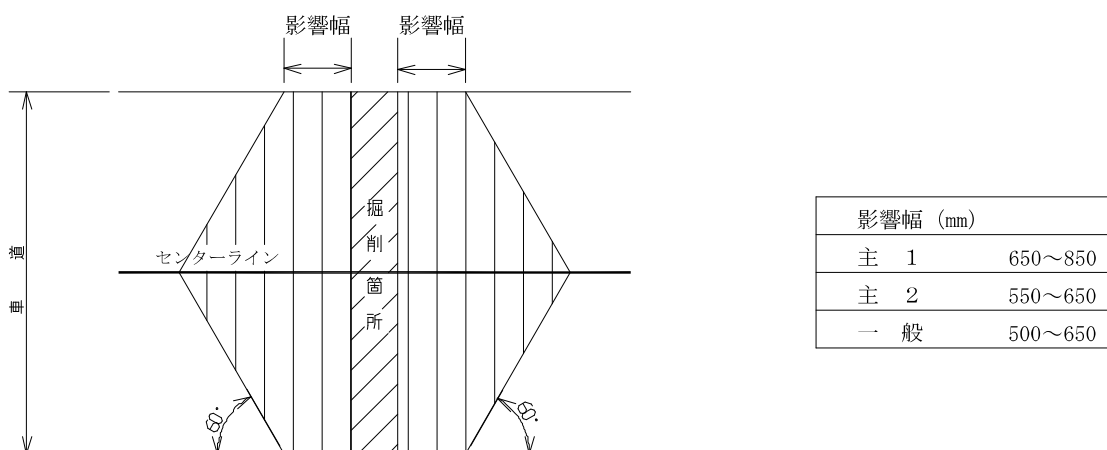
また、交差点及び道路形状が特殊な場合は、別途協議により決定する。

車道本復旧施工図(横断) 占用適用図 (幅員 5 m以上)

横断占用が連絡する場合の本復旧施工例



掘削幅が狭い場合の本復旧施工例



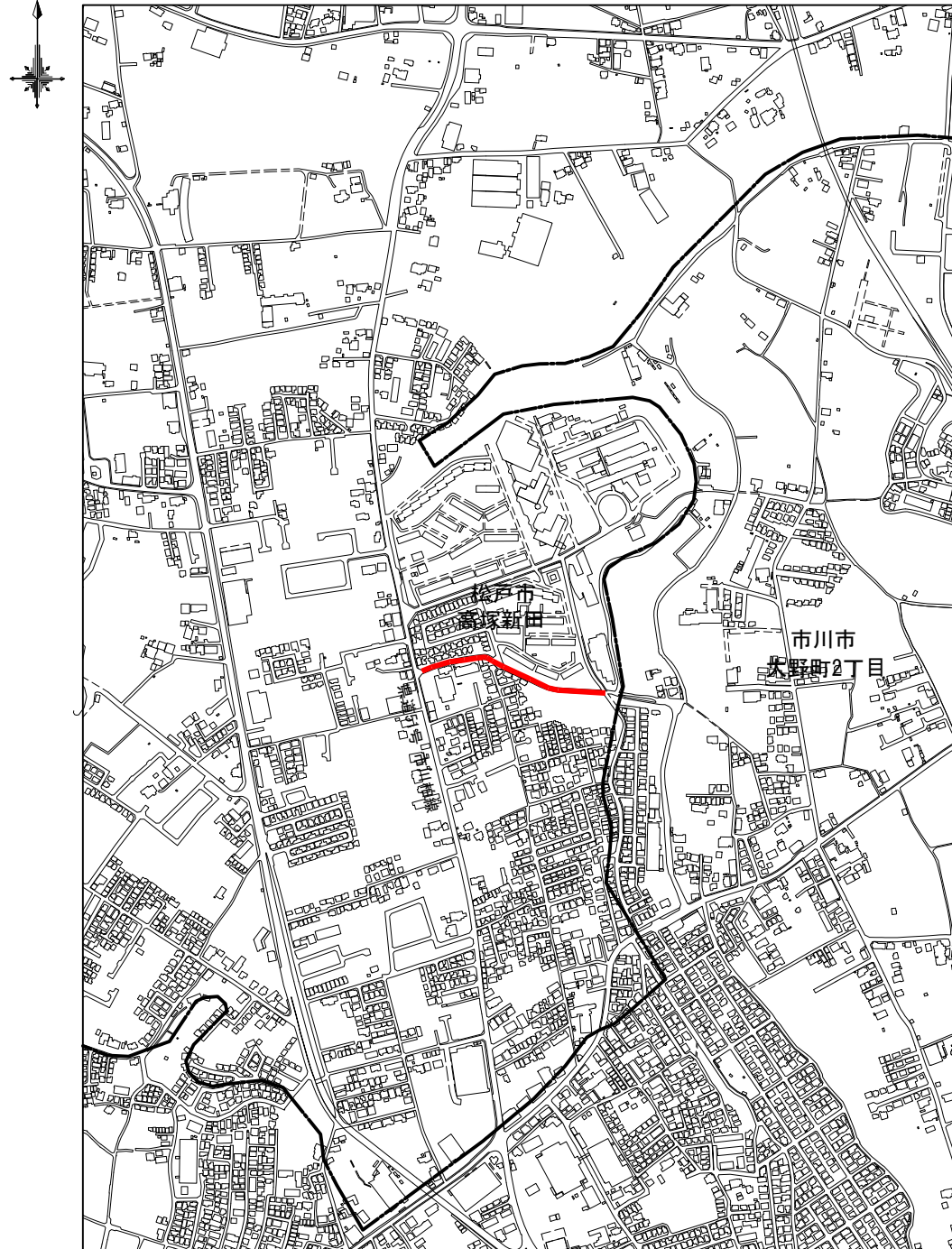
- * 同一路線で他の工事と競合する場合の舗装本復旧は最終の施工者を定め、路面の舗装継目が最小になるよう一面整備とする。

注 道路付属物等の改築に伴うアスファルト復旧においても適用する。

また、交差点及び道路形状が特殊な場合は、別途協議により決定する。

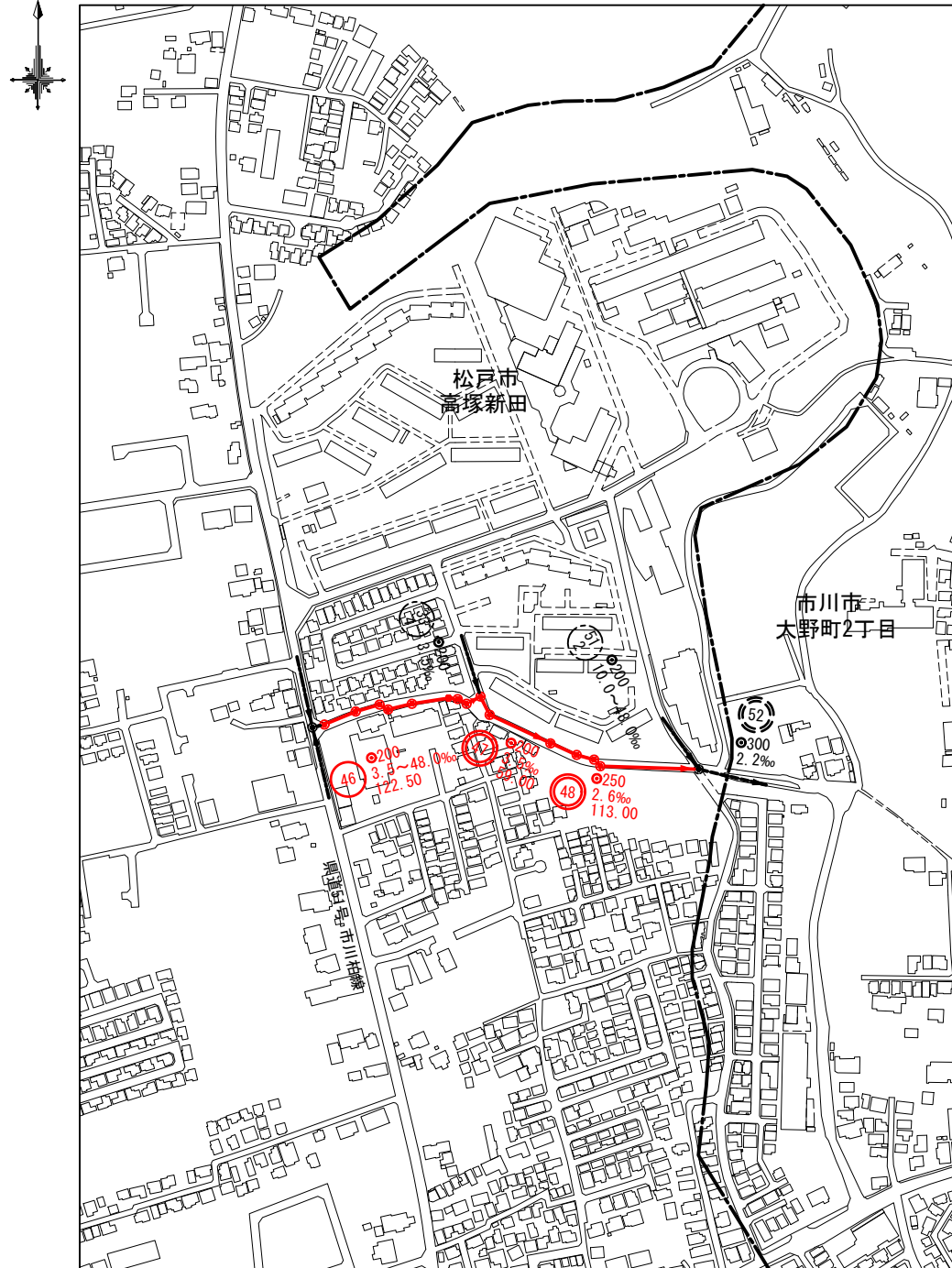
位置図 S=1:5000

松戸市
高塚新田



系統図 S=1:2500

松戸市
高塚新田



工事の概要

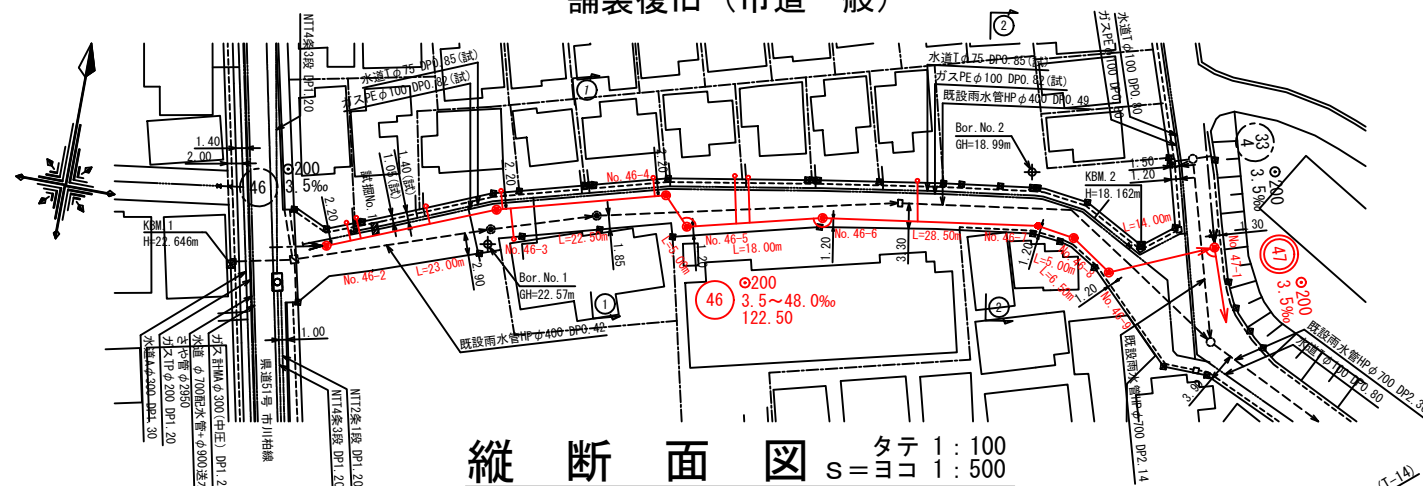
- ・路線延長 294.50 m
- ・内径200mm管布設工(開削工) 122.50 m
- ・内径250mm管布設工(開削工) 113.00 m
- ・内径200mm管布設工(推進工) 59.00 m
- ・組立1号マンホール設置工 13 箇所
- ・小型マンホール(レジンコンクリート製)設置工 1 箇所
- ・汚水ます設置及び取付管工 13 箇所
- ・附帯工 1 式

R7Y01

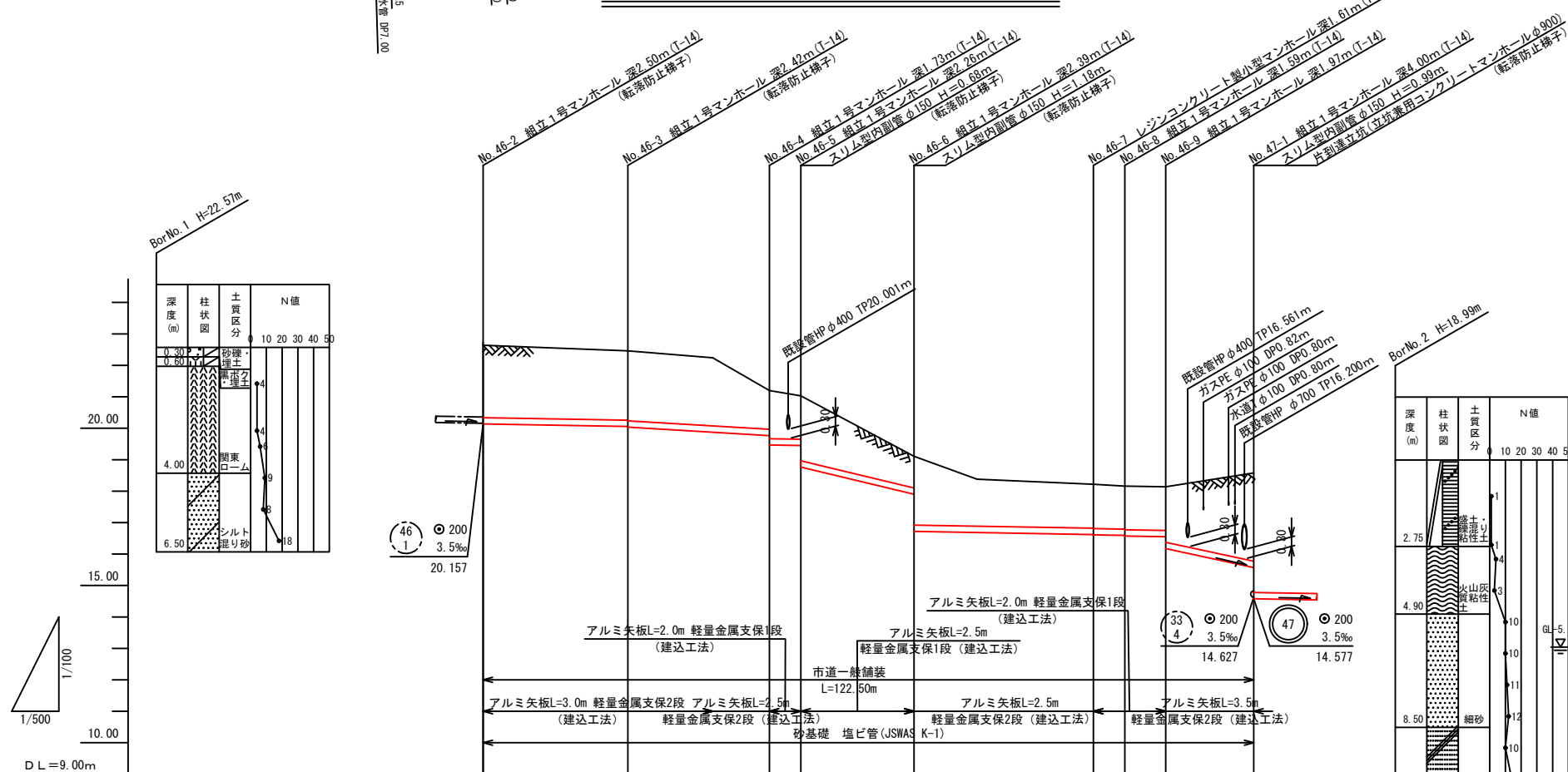
令和8年度	
工事名	市川第4-4地区高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線番号	④⑥④⑦④⑧
工事箇所	松戸市 高塚新田地先
図面種別	位置図・系統図
縮尺	図示
図面番号	全 9 葉ノ内第 1 号
松戸市 建設部 下水道整備課	

平面図 s=1:500

松戸市 高塚新田
舗装復旧 (市道一般)

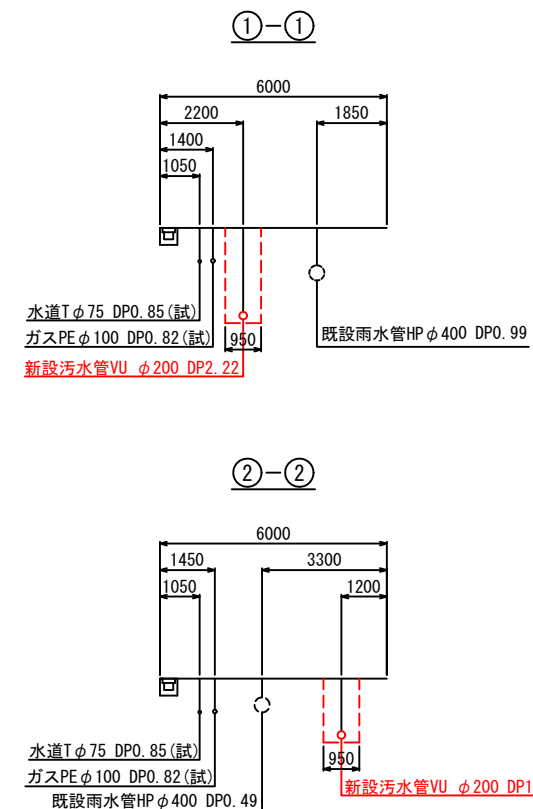


縦断面図 s=タテ 1:100
s=ヨコ 1:500



地盤高	22.64	22.46	22.24	21.20	21.03	19.11	18.38	18.22	18.16	18.14	18.58
土盛り	2.30	2.20	2.16	1.23	1.37	1.00	1.49	1.39	1.40	1.38	2.80
管底高	20.137	20.056	19.874	19.766	19.450	17.902	16.685	16.620	16.592	16.549	15.571
掘削深	2.61	2.51	2.47	1.54	1.69	1.32	1.80	1.71	1.68	1.70	3.12
追加距離	0.00	23.00	36.50	45.50	50.50	68.5	78.5	97.00	102.00	108.50	122.50

横断面図 s=1:100



案内図 s=1:5,000

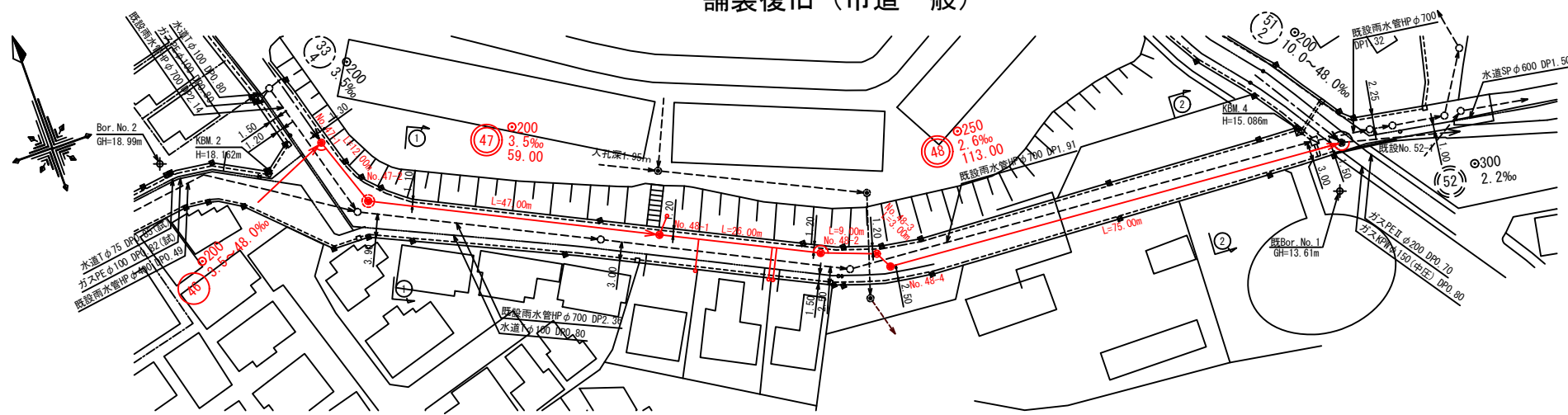


R7Y01

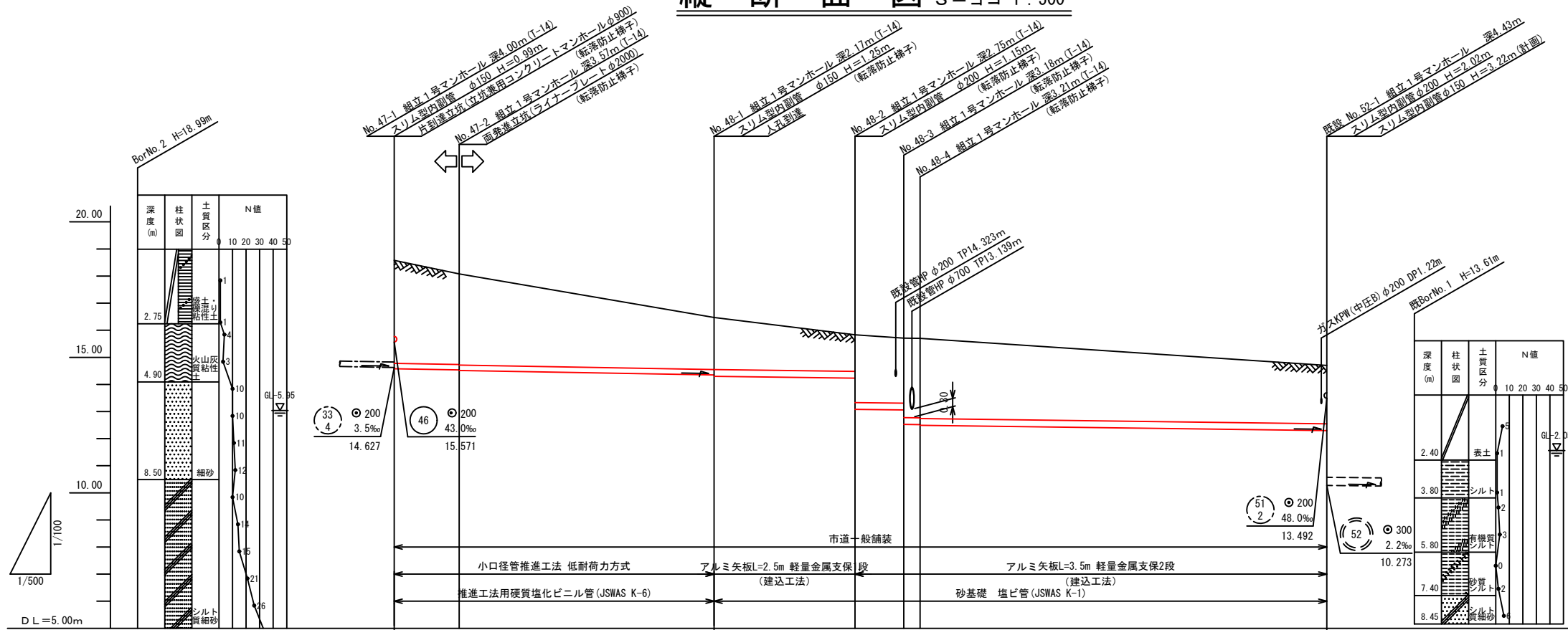
令和 8 年度	
工事名	市川第4-4地区高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線	番号 46
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	平面図・縦断面図・横断面図
縮尺	図示
図面番号	全 9 葉ノ内 第 2 号
松戸市 建設部 下水道整備課	

平面図 S=1:500

松戸市 高塚新田
舗装復旧 (市道一般)

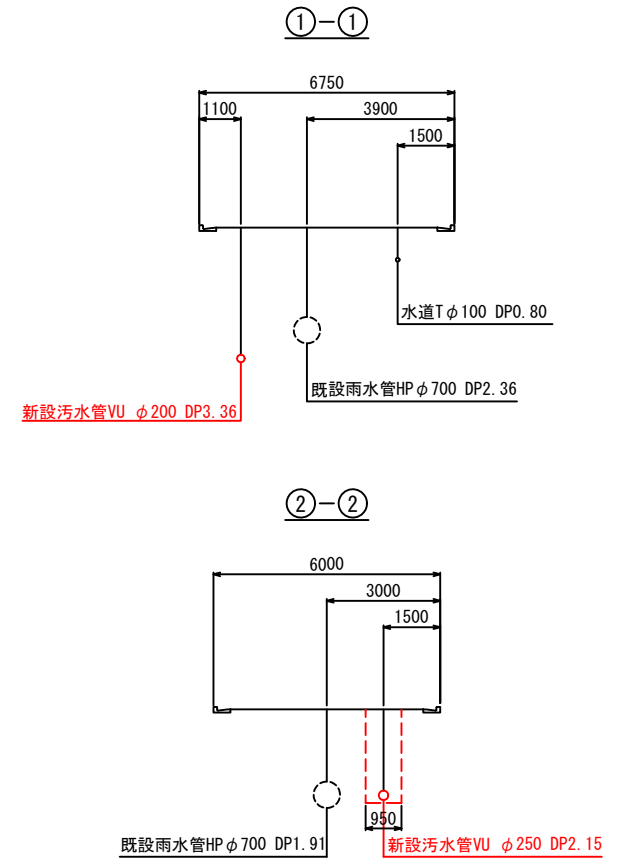


縦断面図 S=タテ1:100 S=ヨコ1:500



地盤高	18.58	18.08	16.47	15.83	15.71	15.70	14.70
土盛り	3.80	3.34 3.36	1.91 1.91	1.34 2.49	2.39 2.95	2.92 2.95	2.15
管底高	14.577	14.535 14.515	14.350 14.300	14.232 13.081	13.058 12.526	12.518 12.491	12.296
掘削深	-	-	-	1.71 2.86	2.76 3.29	3.29 3.32	2.51
追加距離	0.00	12.00	59.00	85.00	94.00 97.00	172.00	

横断面図 S=1:100



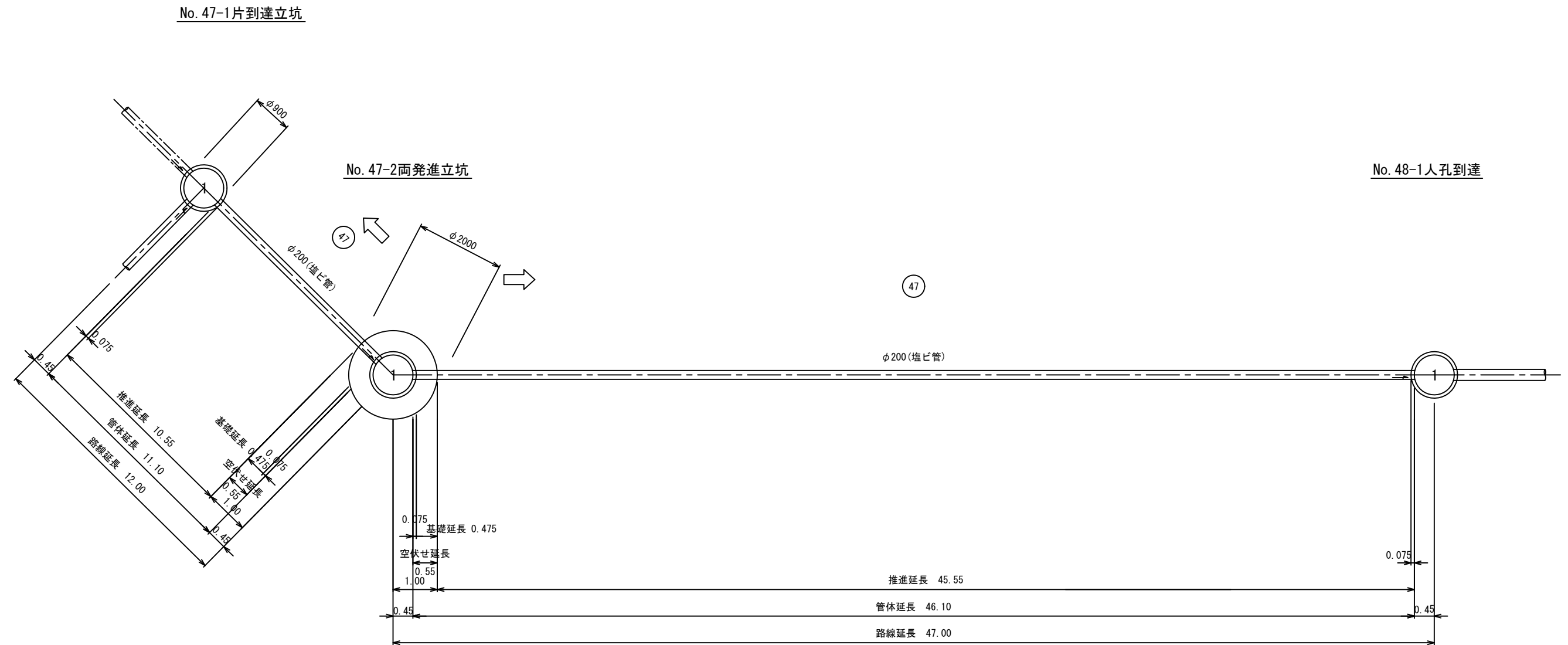
案内図 S=1:5,000



R7Y01

令和 8 年度	
工事名	市川第4-4地区高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線番号	④⑧
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	平面図・縦断面図・横断面図
縮尺	図示
図面番号	全 9 葉ノ内第 3 号
松戸市 建設部 下水道整備課	

推進延長説明図 s=Free



数量表

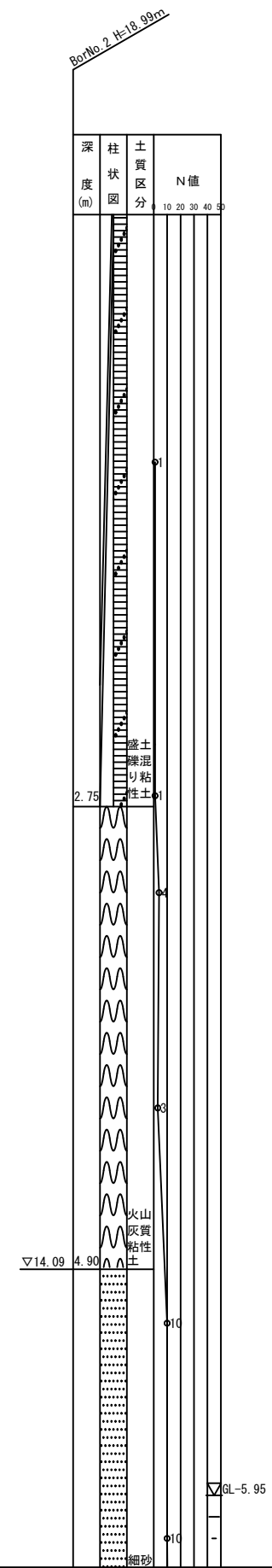
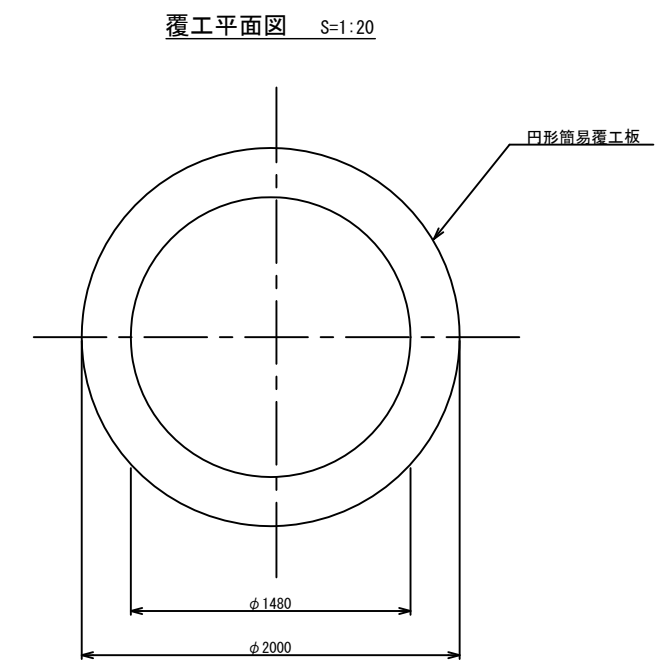
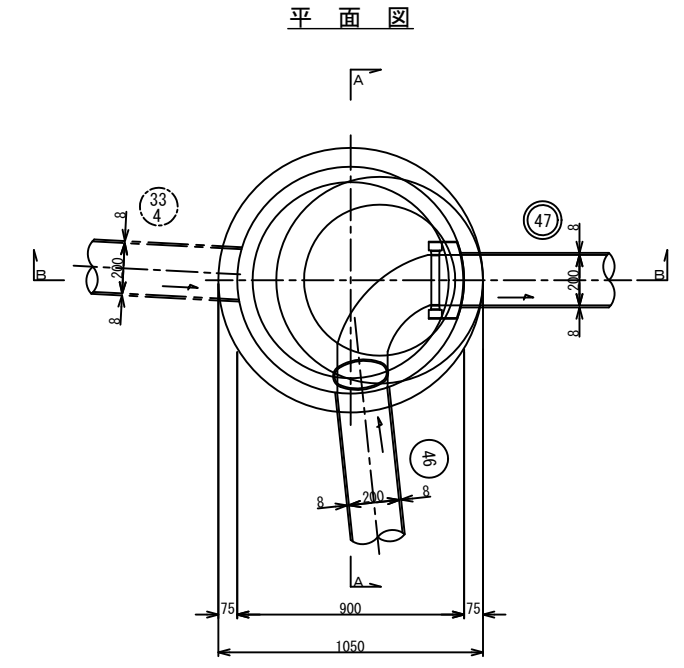
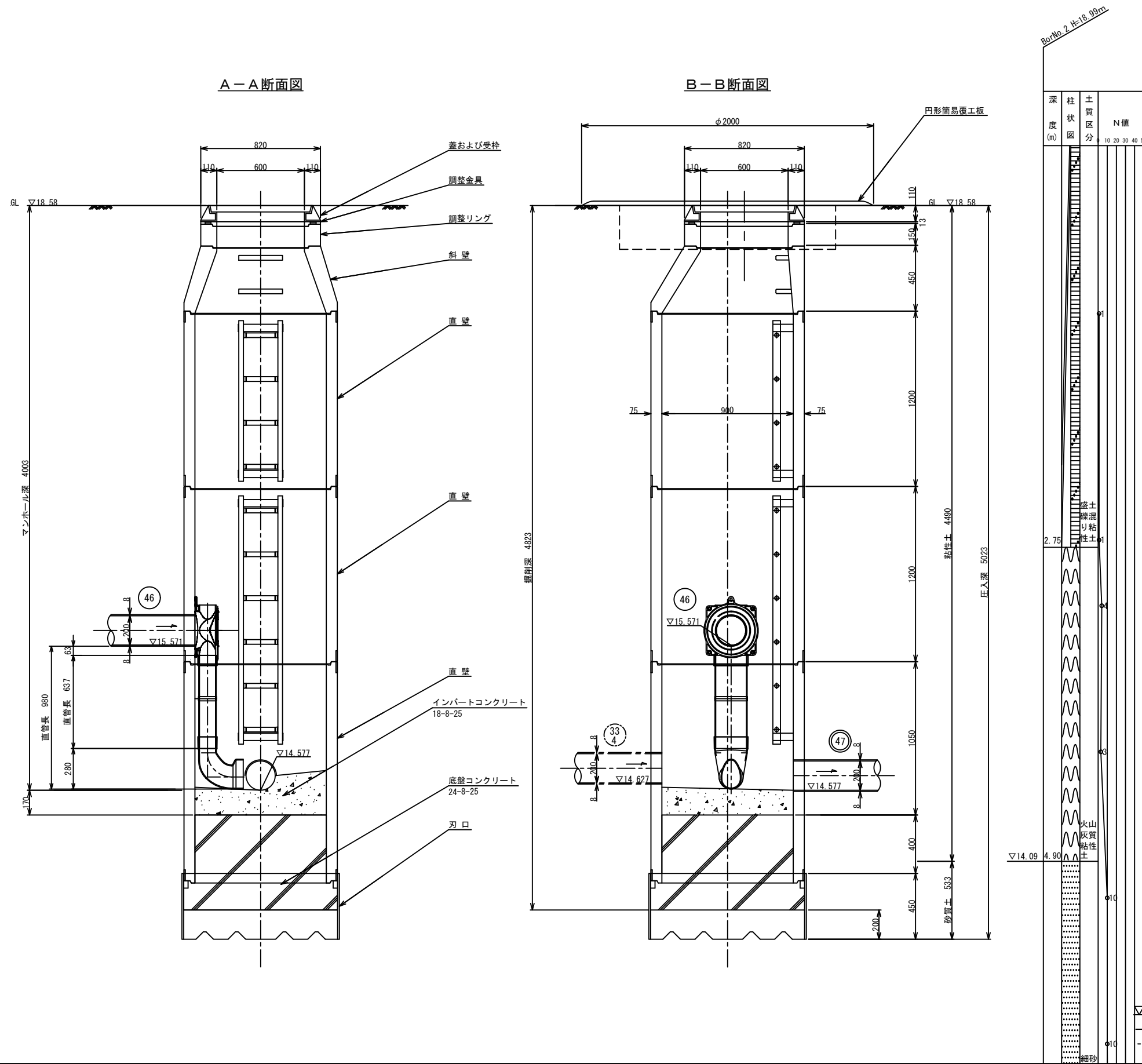
立坑No.	路線延長 (m)	管体延長 (m)	推進延長 (m)	空伏せ延長 (m)	基礎延長 (m)	管本数(本) 埋込管 $\phi 200$ L=1.0m/本
No. 47-1	12.00	11.10	10.55	-	-	11
No. 47-2	47.00	46.10	45.55	0.550	0.475	46
No. 48-1	-	-	-	-	-	-
計	59.00	57.20	56.10	1.100	0.950	57

R7Y01

令和8年度	
工事名	市川第4-4地区分区分高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線番号	
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	推進延長説明図
縮尺	Free
図面番号	全9葉ノ内第4号
松戸市 建設部 下水道整備課	

立坑兼用コンクリートマンホール構造図 S=1:15

(人孔No. 47-1)

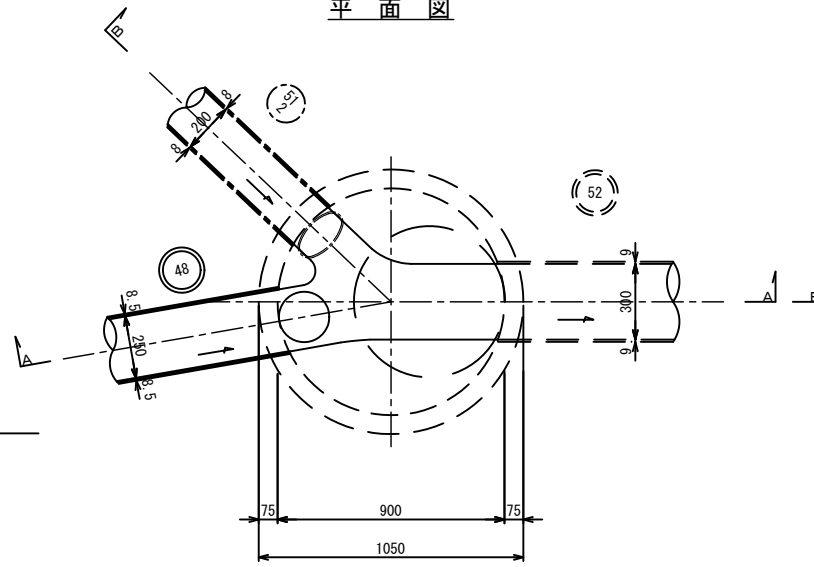


R7Y01	
令和 8 年度	
工事名	市川第4-4地区分区分高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線	番号
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	立坑兼用コンクリートマンホール構造図
縮尺	図示
図面番号	全 9 葉ノ内 第 5 号
松戸市 建設部 下水道整備課	

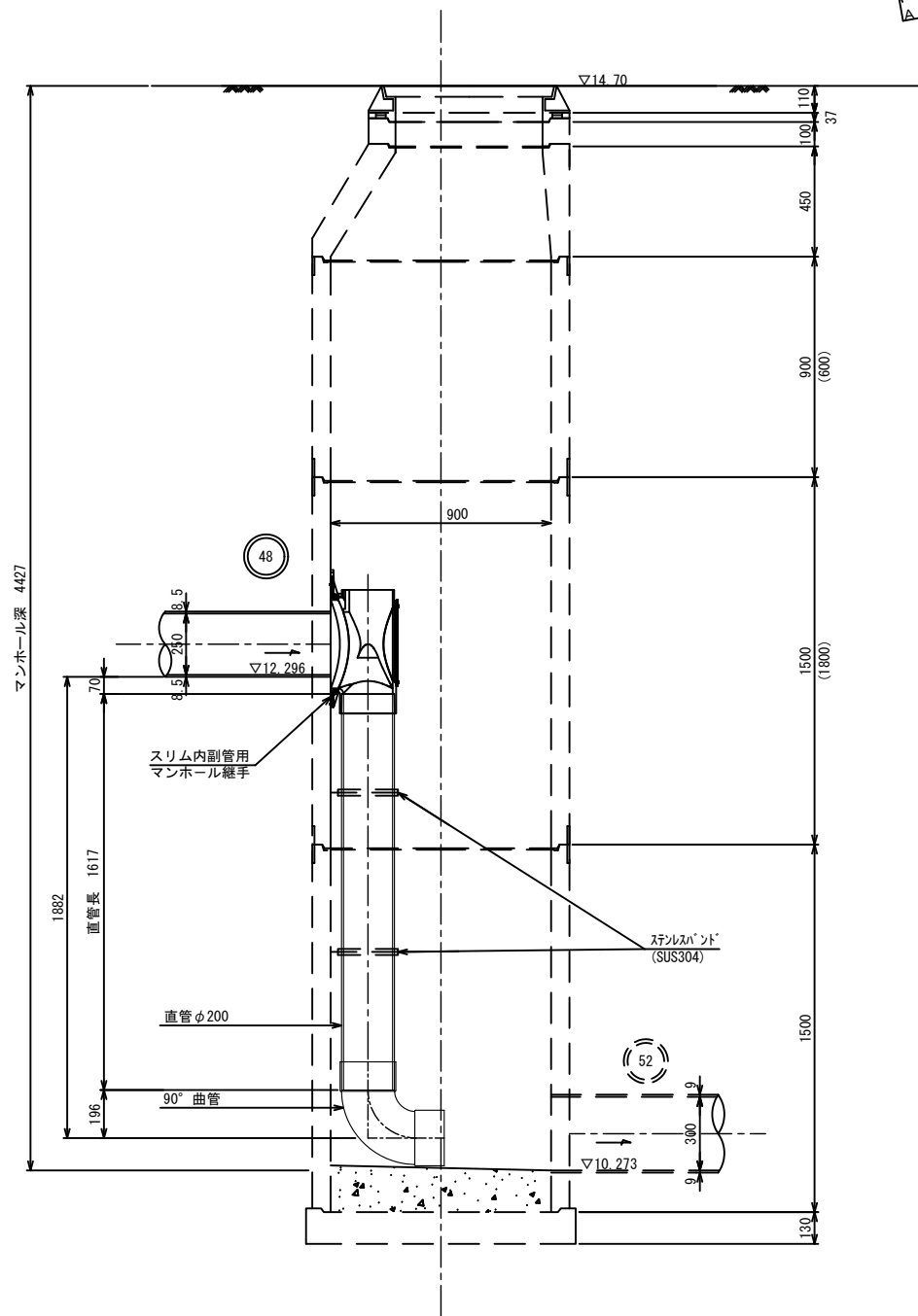
内副管構造図 $s=1:15$

既設No. 52-1

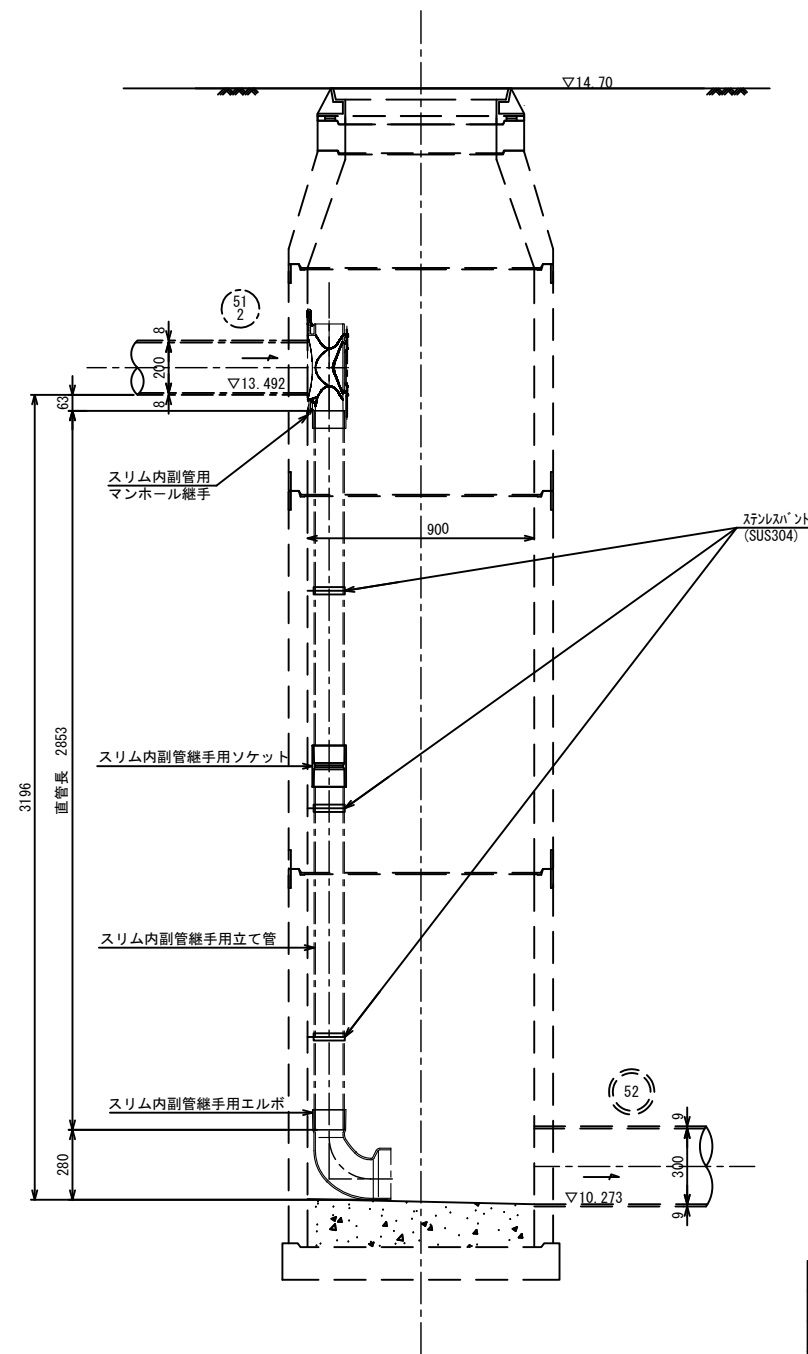
平面図



A-A断面図



B-B断面図



※()内は既設計の値である。
直壁ブロックは51-2路線の流入高さより、
1500, 900の高さに変更した。

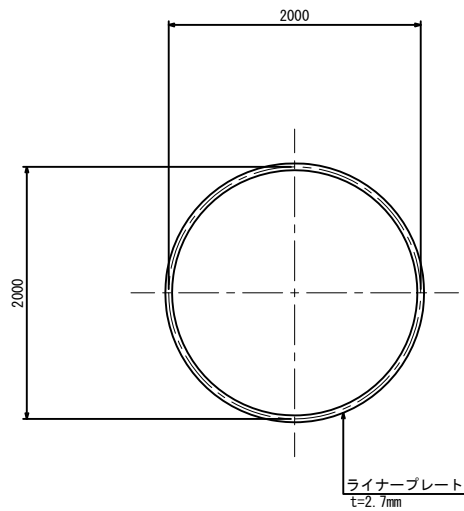
R7Y01

令和 8 年度	
工事名	市川第4-4地区分区分高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線	番号
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	内副管構造図
縮尺	1:15
図面番号	全 9 葉ノ内 第 6 号
松戸市 建設部 下水道整備課	

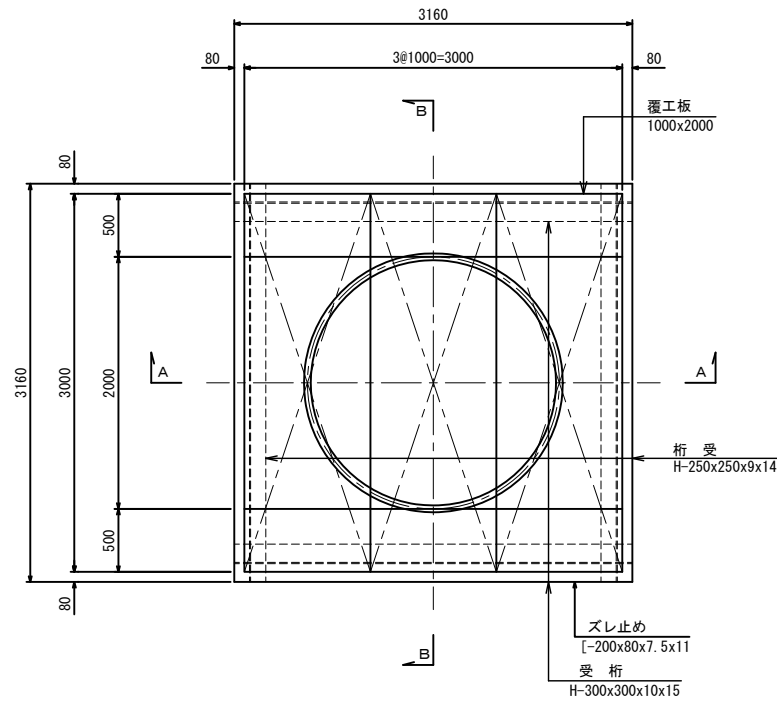
ライナープレート立坑仮設図 $s=1:30$

(No. 47-2両発進立坑)

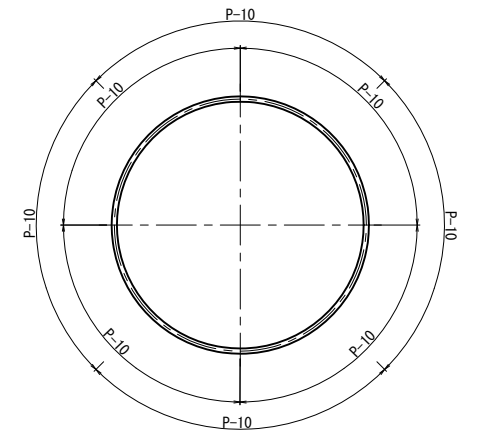
平面図



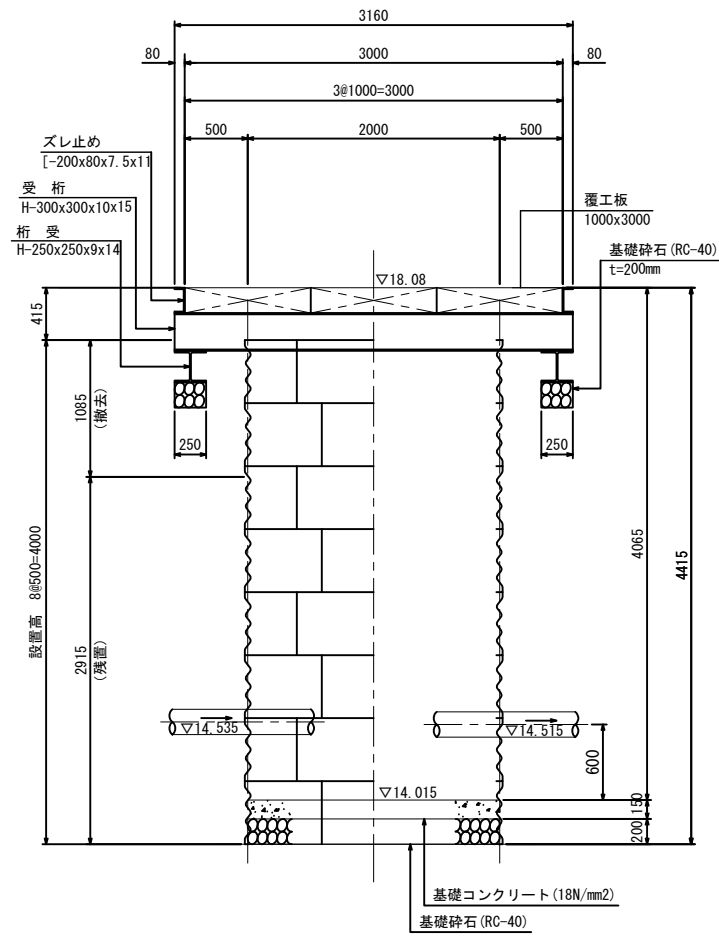
覆工平面図



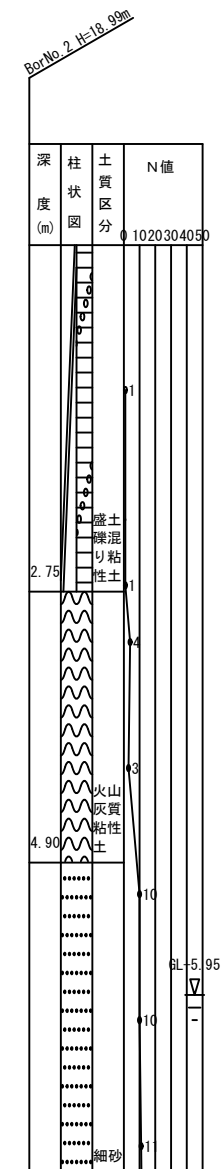
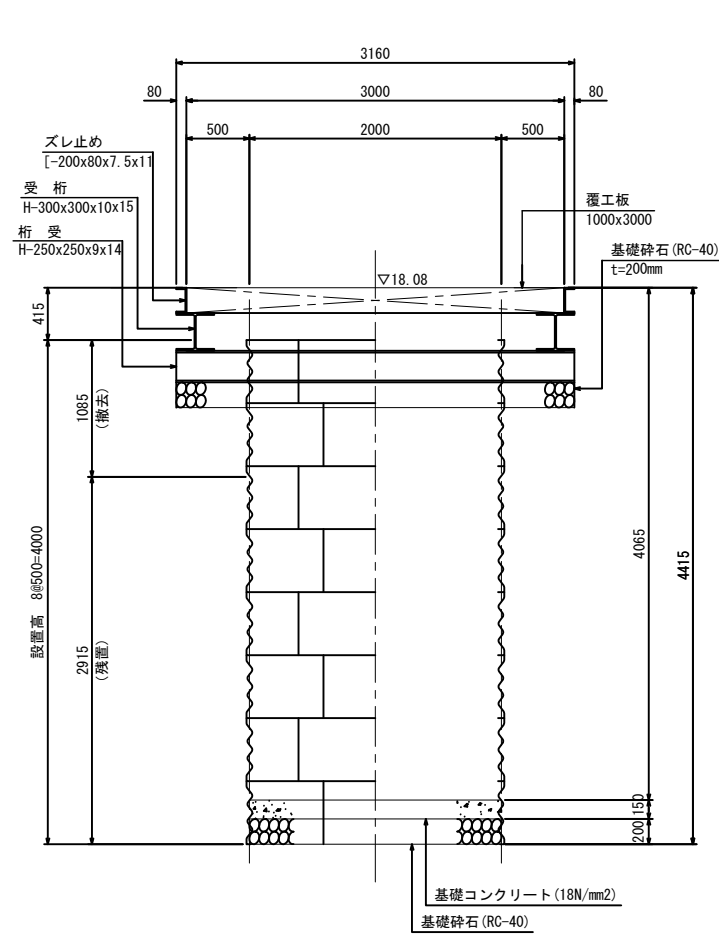
セクション構成図



A-A断面図



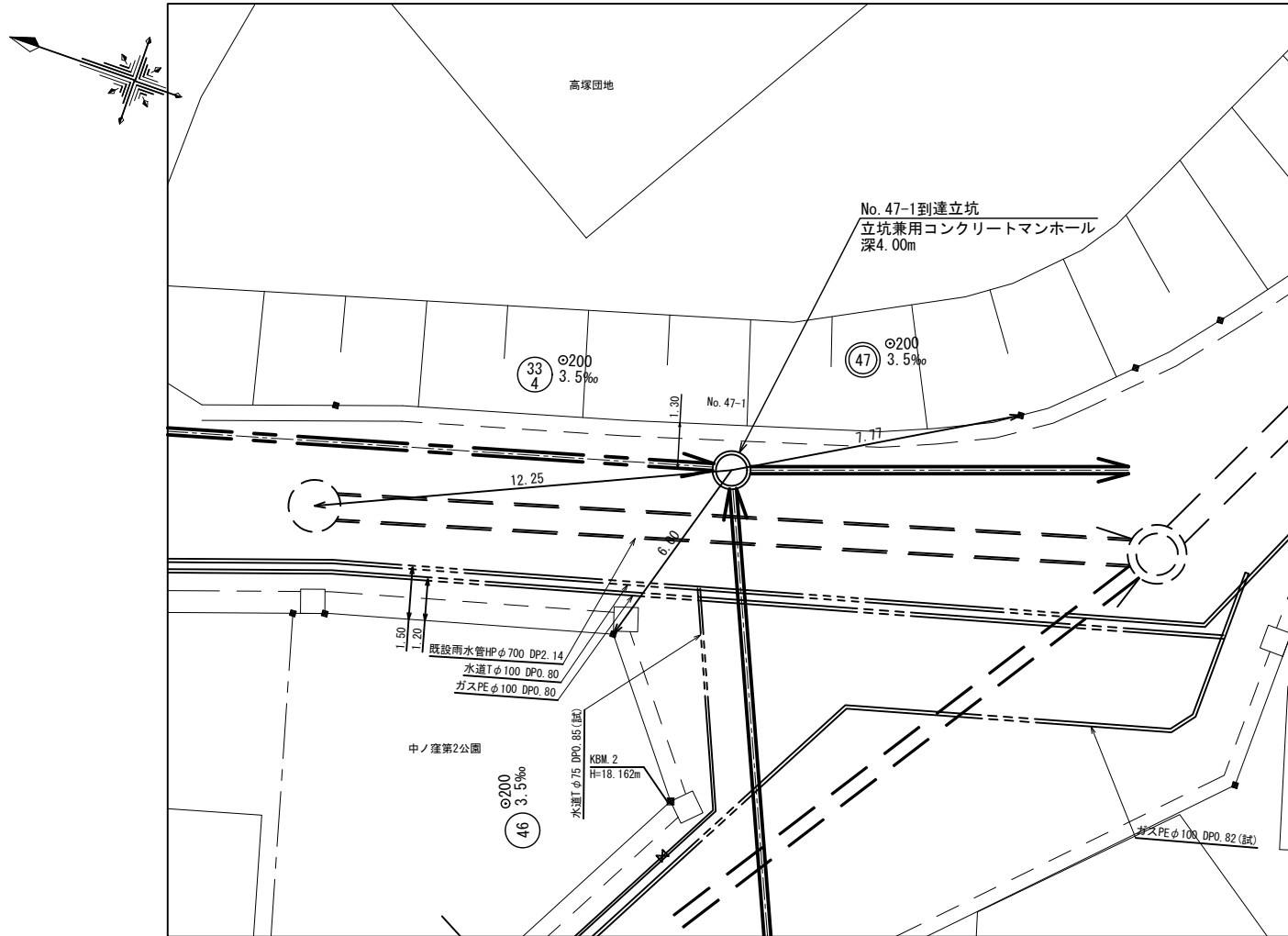
B-B断面図



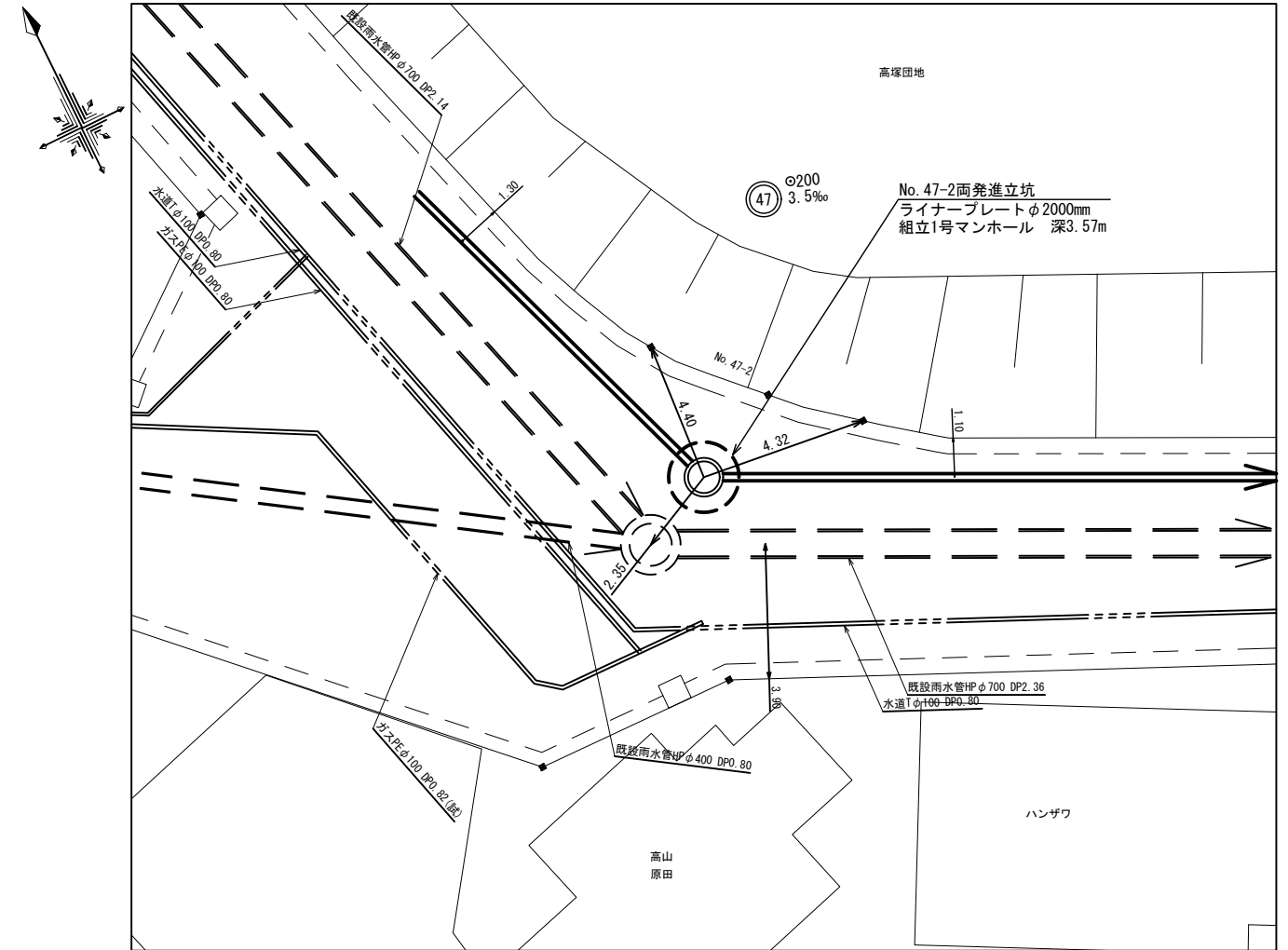
R7Y01	
令和8年度	
工事名	市川第4-4処理区分区高塚新田第1号汚水幹線工事 (R2-1工区)
路線	番号
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	ライナープレート立坑仮設図
縮尺	1:30
図面番号	全9葉ノ内第7号
松戸市 建設部 下水道整備課	

立坑位置詳細図 S=1:100

No. 47-1到達立坑
(立坑兼用コンクリートマンホール)

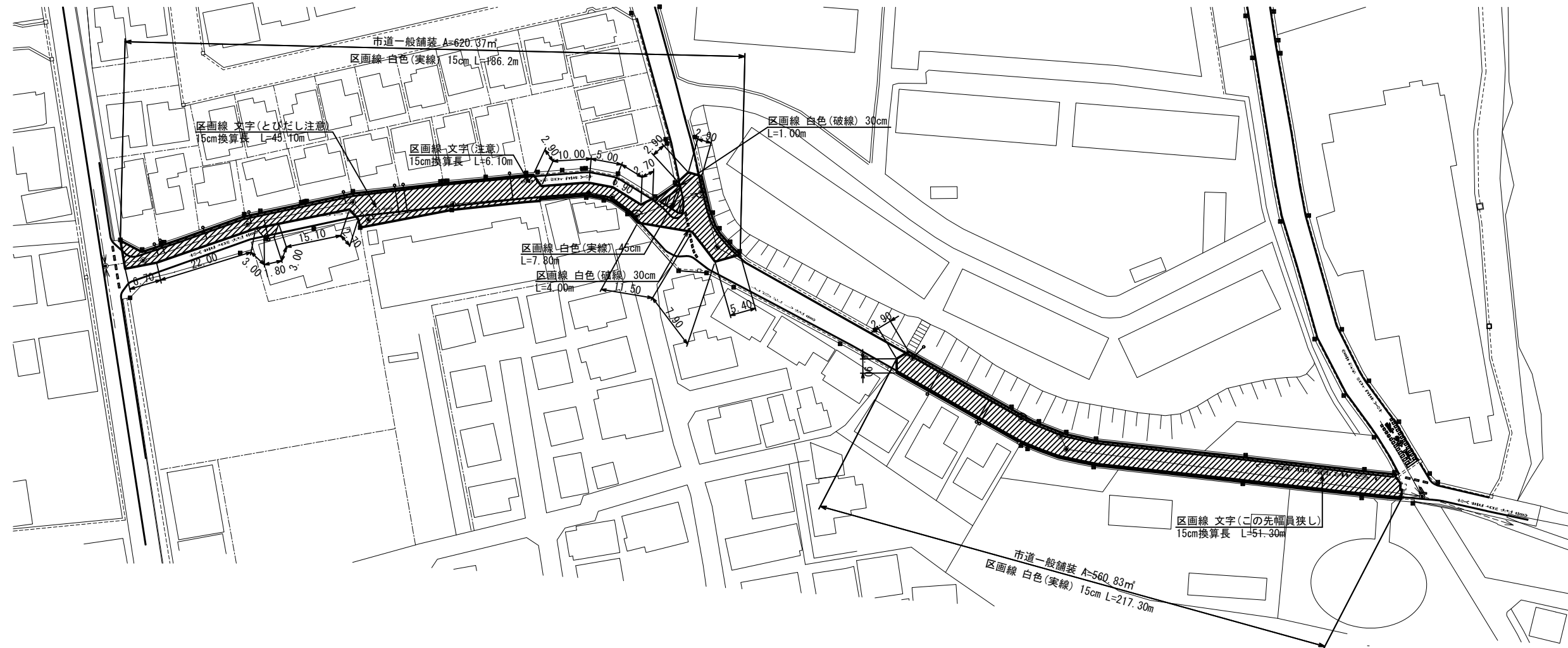


No. 47-2両発進立坑
(ライナープレートφ2000)

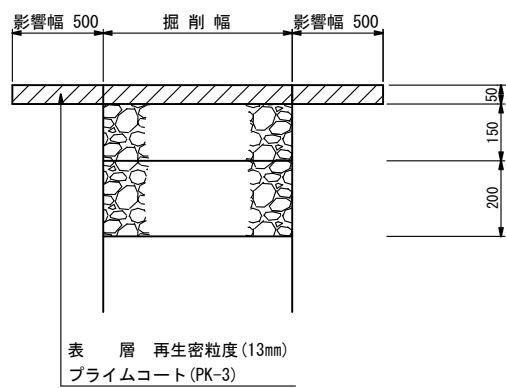


R7Y01	
令和8年度	
工事名	市川第4-4地区高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線番号	
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	立坑位置詳細図
縮尺	1:100
図面番号	全9葉ノ内第8号
松戸市 建設部 下水道整備課	

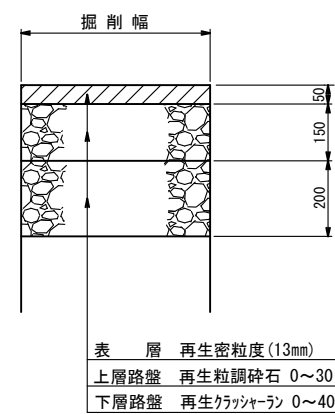
附帯工平面図 参考図 s=1:500



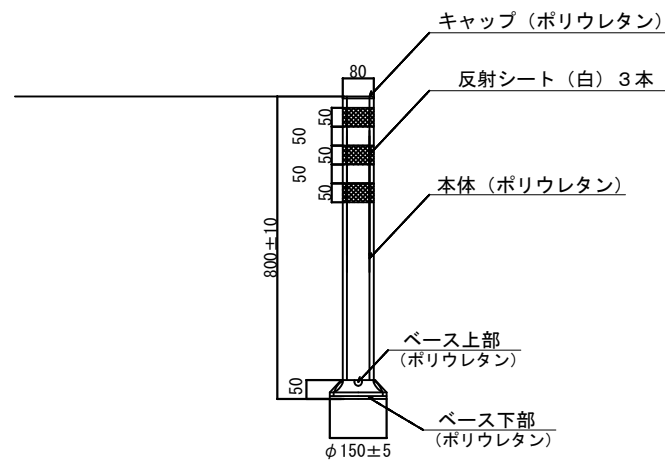
本復旧 s=1:40



仮復旧 s=1:40



車線分離標構造図 s=1:40



復旧面積			
市道一般舗装	620.37 + 560.83	=	1181.20㎡

舗装切断長			
市道一般舗装	6.70 + 22.00 + 3.00 +		
	1.80 + 3.00 + 15.10 +		
	2.70 + 2.90 + 10.00 +		
	5.00 + 6.90 + 2.70 +		
	11.50 + 7.90 + 5.40 +		
	2.90 + 2.90 + 2.90 +		
	2.90	=	118.20m

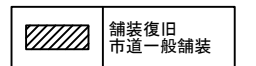
区画線工 実線 (白 W=15cm)			
90.60 + 61.70 + 14.70 +			
0.20 + 19.00 + 106.80 +			
110.50	=	403.50m	

区画線工 破線 (白 W=30cm)			
4.00 + 1.00	=	5.00m	

区画線工 実線 (白 W=45cm)			
1.30 + 3.80 + 2.70	=	7.80m	

文字・記号(15cm換算延長)			
とびだし注意	45.10	+	
注意	6.10	+	
この先幅員狭し	51.30	=	102.50m

凡例



R7Y01	令和8年度
工事名	市川第4-4地区分区分高塚新田第1号汚水幹線工事 (R8-1工区)
路線番号	
工事箇所	松戸市高塚新田地先
図面種別	附帯工平面図
縮尺	図示
図面番号	全9葉ノ内第9号
松戸市 建設部 下水道整備課	